

2015 年

ワーカビリティ・インターナショナル(WI)会議

ワーカビリティ・アジア(WAsia)会議

## 報 告 書



WI会議

6月20日(土)～22日(月) ホテル・デル・コロナド (アメリカ、CA、サンディエゴ)

WAsia 会議

7月8日(水)～10日(金) ヒルトンホテル パタヤ(タイ、パタヤ)

表紙うら

## はじめに

2015 年度は、ワーカビリティ・インターナショナル（WI）会議と総会がアメリカ、カリフォルニア州のサンディエゴで、ワーカビリティ・アジア（WAsia）会議と総会がタイのパタヤでそれぞれ開催されました。

通常は秋に行われる WI 会議が今回は主催者側の都合で 6 月開催となったため、アジア会議との日程が近くなってしまい、ワーカビリティ・インターナショナル・ジャパン（WIJ）としては WI 会議のツアーを組むことを断念しました。

しかしながら、WI 会議は世界でもその注目を集める「グッドウィル・インダストリーズ・インターナショナル」との合同会議であり、ここで行われる発表や事業所見学に参加して勉強したいという希望があり、少数ではありますが日本から参加者を送り出すことができました。

WAsia 会議は、2015 年 4 月にきょうされんが受け入れ団体となり、WIJ でも報告会を行った「ワーカビリティ・アジア（WAsia）人材交流プログラム」で来日したタイのレデンプトリスト障害者財団が主催団体の一つでした。参加者の多くが「人材交流プログラム」でタイのスタッフと時間を共有し、WIJ 主催の報告会でタイの障害者就労事情について学んでいたこともあり、参加者の積極的な様子が印象的でした。

この「人材交流プログラム」については、WAsia 会議でも斎藤なを子 WIJ 理事（きょうされん副理事長）を中心に発表し、これまでにないアジアメンバーとの交流方法を提示することができました。また、最終日には「人材交流プログラム」ふり返しとしてレデンプトリスト障害者財団を訪問しました。日本で吸収した経験や知識を、タイのスタッフが即実行に移している姿に感銘を受けました。日本がアジアの障害のある人の将来に貢献できる新たな道が拓けたのではないのでしょうか。

2016 年度の WI 世界会議はニュージーランドのオークランドで、WAsia 会議はインドのバンガロールで開催されることが決まりました。

これからも多くの皆さんが海外の障害のある人の就労事情に目を向け、情報の収集や発信にご協力いただけることを期待しております。

ワーカビリティ・インターナショナル・ジャパン  
代表理事 藤井 克徳

# 目 次

|                                          |     |
|------------------------------------------|-----|
| はじめに                                     | 1   |
| 目次                                       | 2   |
| ワーカビリティ・インターナショナル会議 2015 in サンディエゴ（アメリカ） | 3   |
| 会議プログラム（概要）                              | 4   |
| 会議報告                                     | 7   |
| 会議まとめ                                    | 10  |
| 発表要旨・資料                                  | 11  |
| 参加者名簿                                    | 94  |
| グッドウィル・インダストリーズ・インターナショナル紹介              | 95  |
| ワーカビリティ・アジア会議 2015 in パタヤ（タイ）            | 97  |
| スケジュール・会議プログラム                           | 98  |
| 会議報告                                     | 107 |
| スタディ・ツアー報告                               | 110 |
| 発表要旨・資料                                  | 112 |
| 参加者の感想                                   | 136 |
| 参加者名簿                                    | 141 |
| レデンプトリスト障害者財団紹介                          | 142 |
| WI/WAsia/WIJ 紹介                          | 143 |
| おわりに                                     | 144 |

ワーカビリティ・インターナショナル(WI)会議 2015  
in サンディエゴ  
報 告 書



2015 年6月 20 日(土)～22 日(月)  
ホテル・デル・コロナド  
(アメリカ、CA、サンディエゴ)

# 会議プログラム（概要）

※和訳資料、参加者報告より WIJ 事務局で整理

< 1 日目 : 2015 年 6 月 20 日（土） >

(11 : 45～13 : 00)

キックオフランチ：組織の健全性の潜在的なアドバンテージ

(13 : 45～15 : 00)

WI プログラム：アメリカ・ビジネス・リーダーシップ・ネットワーク

(15 : 15～16 : 05)

WI プログラム：実現させよう：知的障害のある人の自営サポート

IHC Kristyn Gain / Michelle McIntyre (NZ)

… ニュージーランドの仮設トイレの製造。健康・安全への配慮と作業の自立に向けた定期的なミーティング、作業適正の整理と自信の獲得のための支援を実施。働く側が自分の作業適正に合う条件の仕事を選び、雇用前に実習をしてから契約を行う形の有期雇用制度（在職中には次の雇用先の移行や確保に向けた支援も行う）をとっている。

(16 : 05～17 : 00)

講演：Remote Australia における障害のある人々のために認識されなければならない問題

Somerville Community Services Vicki O'halloran (オーストラリア)

… オーストラリアには様々な人種が住んでいる。北部特別地域は非常に過酷な気候であり、そこに住む原住民は貧しく、その日暮らしを余儀なくされている。障害者の親は子供を連れ去られるのを恐れ、障害を報告しない。そのような地域で National Disability Services はサービスを提供している。

(17 : 00～18 : 30)

報告：2015 年ネパールの地震と障害者の生活に与える影響について

※プレゼンテーションは NRCD ネパール代表 Ram Prasad Dhungana 氏がビザを取れなかったためにキャンセルされ、WI 会長より要約が報告された。

… 2015 年 4 月 25 日と 5 月 12 日、ネパールで壊滅的な地震が発生した。死者は 9,000 人を超えた。この地震で、約 300 人の障害者が亡くなり、約 5,000 人の障害者が家を失った。救援活動や食糧、テントの支給は、障害者へ優先的に行われていない。復興やリハビリテーションプログラムで障害者が見落とされるリスクは大きい。

(18 : 30～21 : 30)

WI 会員夕食会

< 2 日目 : 2015 年 6 月 21 日 (日) >

( 9 : 30 ~ 10 : 00 )

講演 : サンディエゴ・グッドウィル・インタストリーズ (GISD) の一日

Beth Forsberg (アメリカ)

… 一般企業が障害者等を雇用するためのコンサルタント等を行うアメリカの非営利法人の発表。具体的な雇用管理の指導だけではなく、全国での集会等の運動を求心力に、人権や参加機会の平等性を訴える啓蒙活動も実施。企業への支援内容等をスコア化した社会的評価システムを構築し、高評価の優良企業を紹介することで企業の社会的価値向上と企業コンプライアンスの意識向上を刺激する活動等を実施。

(10 : 00 ~ 10 : 30)

講演 : アイルランドの社会福祉企業のための地域およびヨーロッパの生活協同組合

RECOSI 役員 Michael Horgan (アイルランド)

… PC リサイクル等のビジネスモデルを提案したアイルランドの非営利法人の報告。地域の企業家や現存するリユースセンターのビジネス支援、リユース／資源回収サービスを立ち上げて運営するセンターの技術的支援などを行うことで、社会的企業の商業活動を発展させ、障害のある人や仕事を簡単に見つけられない人々のためにより多くの仕事を作り出している。

(11 : 00 ~ 12 : 00)

講演 : Social finance ~ 機会と挑戦 ~

RSF Social Finance Ted Levinson (アメリカ、TBC)

(12 : 30 ~ 14 : 15)

昼食 : グッドウィル・インダストリーズ昼食会

(14 : 30 ~ 16 : 00) WI セッション

講演 : 健全な組織 (オーストラリアのシドニーの事例)

Beyond Phoenix Sally Powell (オーストラリア)

… 2015 年 1 月に Bedford Group と Phoenix Society により設立されたオーストラリアで 2 番目に大きな障害者企業 (介護付き雇用) についての報告。Bedford の組織は縮小され、投資も目減り、品質管理システムも遅れているという問題があったが、小売業で成功する方法から新しいモデルを築いた。

(16 : 00 ~)

講演 : 社会福祉企業のための地域およびヨーロッパ生活協同組合  
~ リユースビジネスの事例 ~

RECOSI Michael Horgan (アイルランド)

… アイルランドの生活協同組合 RECOSI は、障害者や仕事を容易に見つけることのできない人々の雇用創出を目的に、マイクロソフトをパートナー企業に I T 機器のリサイクル事業を行っている。MAR プログラム (Windows OS のライセンス供与プログラム) を利用し、ユーザーから寄付を受けた I T 機器を解体、修理再生を行い販売している。解体作業は主に身体障害者が行い、販売先は政府機関、学校などである。

(19 : 15～21 : 00)

公式ディナー

< 3 日目 : 2015 年 6 月 22 日 (月) >

(9 : 30～10 : 45)

ワーカビリティ・インターナショナル 年次総会

(11 : 00～12 : 15)

W I プログラム

(14 : 15～15 : 30)

講演 : Mathematica のジョブスタディ

REDF Nicole Simmons (アメリカ)

… 社会的企業を対象とした調査 (ジョブスタディ) についての報告。社会的企業で 1 年以上仕事をした結果、経済的な自給、住居の安定、身体的な健康の改善が見られた。ただし、精神的な健康の改善は、雇用後のサポートによることが分かった。

(14 : 15～15 : 30)

講演 : 機能するコミュニティ コラボレーション

Didlake (アメリカ、バージニア)

… アメリカ バージニア州の Didlake プログラムの報告。このプログラムを通じて、2014 年度に 2,020 人の障害者がビジネスサービス (環境、物流、スタッフ、施設管理)、リハビリサービス (教育、就職あっせん、トレーニング、移動手段) に勤めることができた。

< 4 日目 : 2015 年 6 月 23 日 (火) >

(09 : 00～12 : 00)

見学 : サンディエゴ・グッドウィル・インダストリーズ

… 希望者による Otay リサイクルセンター、イーストレイク寄附センター、書店を含むサンディエゴ・グッドウィル・インダストリーズの見学。

## 会議報告

(ゼンコロ広報誌No.158 より抜粋)

鈴木 宏 (社会福祉法人山形県コロニー協会 地域就労支援部長)

前回参加した札幌会議は、多くの日本人参加者と同時通訳が整備された快適な環境でしたが、今回のサンディエゴ会議は日本人4人、言語は全て英語という厳しい環境でした。苦労等もありましたが、日本人だけで固まっていた札幌とは異なり、世界中の参加者等と生きた交流ができたことは良い経験になりました。日本では困難を抱えないコミュニケーションスキルも、環境が変わるだけで重度の障害を抱える事を痛感した今回、障害の社会モデルの捉え方、また何らかの障害を抱え生活することの生きづらさを、実体験を通じ理解できたことは大きな収穫でした。

100名超の参加者で賑わった札幌とは違い、今回のWI参加者は全体で40名程度。その殆どがアメリカ、オーストラリア、ニュージーランドの方であり、アジアは日本、台湾、パキスタン等を合わせて8名程度。WI発祥地ヨーロッパに至っては、イングランド、アイルランドの3名程度と最も少ない地域となり、WIがアメリカ・オセアニア中心へと変遷している事を感じました。

また、WIは障害のある人の雇用・就労がテーマだと思っていましたが、今回は『ヒューマンライツ』という共通概念の下、社会的、生活的、教育的、職業的スキル等に課題を持つ障害者やホームレス、無教育者、触法者、ドラッグ等中毒者等の労働や社会生活等の困難を包括して『障害』と捉えているセッションが多かったと思います。

障害者雇用率制度のないアメリカの事例では、一般企業が障害者等を雇用するためのコンサルタント等を行う非営利法人の発表がありました。そこでは、具体的な雇用管理の指導だけでなく、全国での集会等の運動を求心力に人権や参加機会の平等性を訴える啓蒙活動も行っていました。また、企業への支援内容等をスコア化した社会的評価システムを構築し、高評価の優良企業を紹介することで企業の社会的価値向上と企業コンプライアンスの意識向上を刺激する活動等が紹介されました。まずはドアを開ける事。そして活動上の障害は、ITテクノロジー等で補完できると話し、支援した企業の86%が成功しているとの報告がありました。

また、働く場についてはソーシャルエンタープライズの紹介が目立ちました。PCリサイクル等のビジネスモデルを提案したアイルランドの非営利法人。アメリカからは、銀行が貸付けしない対象者への起業資金支援を行うソーシャルファイナンス。社会的企業の目的や有効性等を検証した報告等もあり、働く場の資源拡大に向けたアプローチが様々な角度から紹介されました。

報酬額は、日本とは違い最低賃金水準での雇用ケースは少なく、障害者も触法者もホームレスも、同条件で雇用された一般市民と同賃金が保証されるケースが多い印象でした。

障害を対象とした事例は、ニュージーランドの仮設トイレ製造がありました。健康・安全への配慮と作業の自立に向けた定期的なミーティング、作業適正の整理と自信の獲得のための支援が紹介されました。特徴的な点は、働く側が自分の作業適正に合う条件の仕事を選び、雇用前に実習をしてから契約する形の有期雇用制度です。有期雇用のため、在職中には次の

雇用先の移行や確保に向けた支援も行われるところが印象的でした。

課題報告もありました。ネパール地震による被害の紹介や、オーストラリアからは、独自言語を話し、貧しくその日暮らし、人生設計など叶わない北部特別地域の報告でした。無教育、アルコール中毒の子供、子供を保護されることを恐れ自身の障害を告知しない親、一軒に16名が住む住環境等、現在でも人権を享受できない地域があることも直視すべき現実です。世界会議に参加すると、地域や国による課題や制度、資源等の違いに気付かされます。良い事例だけでなく、世界中の課題も共有することの重要性を感じました。

今回のWI参加を通じ感じたことは、職業リハビリテーションは、単に障害者等と就労を繋ぎ合わせることを目的とするのではなく、生活、学習、余暇、自己有益感、社会連帯、人生設計等、自分らしく生活を送る権利を支えるという視点も併せ持つべきであるということです。そのためには、俯瞰的視点で課題等を捉え、1人ひとりの希望やリスタート、人間的な成長等の可能性を信じ、その過程に寄り添うことが重要だと思います。

また、色々な人と繋がり合うことで、自分たちの良さや課題等も整理しやすくなることが分かりました。今回の旅程で活動を共にしていただいた鈴木清覚様、内藤晃様との交流も、私にとって掛替えのない財産といえます。願わくは、今後も他団体や世界との交流を継続し、幅広い情報や多様な視点の下で学びを重ねて行きたいと考えております。最後に、このような貴重な機会を頂いたゼンコロの皆様に、心から感謝申し上げます。

#### 柳澤 孝典（ながのコロニー 支援課）

本年6月20日から22日にアメリカ・サンディエゴで開かれた、WI会議に参加させていただきました。今回のWI会議は、サンディエゴ湾に浮かぶコロナドという島にある1888年に建てられた、アメリカでも屈指の老舗「ホテル・デル・コロナド」で開催されました。グッドウィル・インダストリーズ・インターナショナル（GII）の代表者会議との合同開催となり、数百人規模のGII関係者とWI参加者で賑わいました。日本からは、私と鈴木宏さん（山形県コロニー協会）、鈴木清覚さん（ゆたか福社会理事長）、内藤晃さん（就職するなら明朗塾CEO）の4名が参加しました。サンディエゴ在住の通訳者1名の要約通訳のみで、全セッションが英語で行われました。

今回のWI会議は、「世界中で地域の力をつけようー組織の健全性を焦点に」をテーマに、障害のある人の雇用機会拡大を目的に組織の健全性を向上させることに焦点を置いた知識と戦略を、各国が3日間にわたり報告しました。報告は、新しい考え方と現実的な解決方法を提供することを共通事項として行われ、質問が飛び交うなど活発に行われました。

初日はGIIと合同の昼食会からの参加となり、昼食を取りながら、組織の健全性とリーダーシップについて話がありました。その後、3日間のWI会議プログラムに移り、最終日には、WI年次総会が開かれ、事業報告、財務報告などが行われました。また初日の会議終了後には、WI会員の夕食会があり、各国の方とお酒を飲み交わしながら交流することができました。

本会議のホストでもあるGIIは、アメリカをはじめ、世界17カ国における各コミュニティに根ざした、自立的な組織とそのネットワークのことで、障害者雇用に限定せず、若者、高齢者、障害者、犯罪歴のある方等、職業上の困難者に対し、職業訓練、雇用サービス等を

提供している非営利団体です。教育や技術訓練、仕事を通して潜在能力を引き出す手助けをすることで、本人と家族の尊厳と生活の質を向上するために努力しています。主な業務は、基幹となるリサイクル事業をはじめ、政府や企業との契約で作出した、清掃、包装、組み立て、食品製造、書類管理と廃棄などで、総収入としては51億ドル（×120=6120億円）を超えています。

23日には、メキシコの国境から約5キロの町にあるサンディエゴ・GIIのリサイクルセンターを見学する機会がありました。GIIのリサイクル事業は、いわゆる3R（リユース、リデュース、リサイクル）を推進しており、住民が不要なものを寄付として持ち込んでいます。寄付を受けた品物を集め、仕分け、検品、販売、売却をしています。家具などはオークションや店舗で販売され、売れなかったものは大型のコンテナに入れられ、1コンテナ10ドル程度で自国やメキシコのバイヤーに販売します。家電は、動作確認をしてから販売し、修理が必要な場合は専門業者へ売却します。本や雑貨はブックストアで販売し、衣類はまとめて圧縮しアフリカ諸国へ売却しています。また電子部品やプラスチック、古紙なども全てリサイクルしています。このセンターでは、76人の従業員のうち、33人が障害者を含む、職業上の困難者で、検品や仕分け、衣類圧縮作業などに従事しています。障害者等の雇用にあたっては、3か月間のトレーニング期間にマネージャーがトレーニングプログラムに沿って指導し、給料は州によって異なるそうですが、サンディエゴでは最低賃金以上を支払っています。大型のセンターで、集められた品物がたくさんありましたが、しっかりと整頓され、節電のため電球を減らすなど効率的に運営されていたのが印象的でした。

WI 会議では各国の制度やビジネスモデルについて学ぶことにより、世界の障害者雇用について調べる機会となりました。また改めて日本の制度や施策について見直す機会ともなりました。私にとって初めてのゼンコロとしての活動で、ゼンコロの存在の大きさ、多様な労働サービスや雇用の報告、各団体との交流等は、とても良い刺激となり、大変勉強になりました。私の語学力の未熟さゆえ、会議の内容をすべて理解できたわけではありませんが、この経験を支援に活かせるよう努力していきたいと思います。このような機会を頂き、ありがとうございました。



## まとめ

鈴木 清寛（社会福祉法人ゆたか福祉会 理事長、全国社会就労センター協議会 顧問、WIJ 理事）

WI 会議は、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、オセアニアの4つの地域の持ち回りで開催されており、2015 年度は北米、アメリカ西部のカリフォルニア・サンディエゴでの開催であった。

今回の日本からの参加は、私も含めてセルプ協、ゼンコロの関係者で計4名であった。これまでの世界会議に比べても、プログラムが事前に届かないなど不明確な面が多々あり、当初は参加自体を見送るという考えもあったが、WIJ 理事会において少人数でも参加をするべきとの判断に至った。ただし、同年の WAsia 地域会議（タイ・パタヤ）とは異なり、WIJ 構成団体（セルプ協、日本セルプセンター、きょうされん、ゼンコロ）に幅広く参加を呼びかけるということは叶わなかった。

本年度の会議は、世界最大の障害者就労支援組織といわれるアメリカ・グッドウィルの年次総会とあわせて開催されたため、全体としては450名の参加と盛況であったが、WI 会議に限定すれば参加者数は50名程度にとどまり、例年に比べて寂しい会議となった。参加した国は、アメリカ、オセアニア（オーストラリア、ニュージーランド）が中心であり、ヨーロッパからはイギリスとアイルランド、アジアからは日本と台湾とパキスタンであり、全体としては8か国の参加となった。報告を予定していたネパールの代表はビザの関係で来ることができなかった。報告の主なものは、アメリカ開催ということもありグッドウィルの関係のものもあったが、リサイクル関連事業のものが多かった。アイルランドの RECOSI は、パソコンの再利用を障害者の働く場で行っている取組を報告し、非常に興味深いものであった。その他、ネパール大震災についての代理報告、ニュージーランドの震災時の簡易便器の製造において知的障害者が活躍しているとの報告も関心をひくものであった。会議終了後には、グッドウィルの現場視察をする機会があった。仕事は、リサイクル関連の衣類・家具・電化製品・パソコンなどであり、様々なリサイクル製品の仕分けと整理を行っていた。私は30年ほど前にもグッドウィルの事業を視察する機会があったが、今回の視察時には判明しなかった基礎データを帰国後に得たところ、2014 年度はグループ全体で約12万5,000人の従業員を抱え、その内の約3万人が障害者であった。収入規模は年間で日本円換算すると600億円超と、30年前の約5倍の数字に達していた。

次年度はオセアニア（ニュージーランド・オークランド）の開催となる。日本からの参加も今回以上に見込まれるが、やはり世界の働く障害者を支える組織、支援者との交流の継続は重要であり、そこでの学びを、我が国の制度と現実に適応し、現場での支援で、制度・政策の検討の場で活かしていくことが望まれる。障害者権利条約批准後の日本政府の報告、障害者総合支援法施行3年後の見直しと、この間の状況を見ても、国内の関係者の一層の協同が必要である。WIJ の構成団体を中心とし、障害者の働く環境を向上していく取組みが求められる。関係の皆様のご協力を、引き続きお願いしたい。

なお、我々が会議の報告をより理解できるよう支えて頂いた現地に居住するシャープ・美智子さんからは、通訳のみでなく、現地の諸事情の情報提供等親切なサポートを受けた。心からの感謝を申し上げたい。

## 発表要旨&資料

キックオフランチ：組織の健全性のアンタップドアドバンテージ

背景：全米でトップテンベストセラーの *The Advantage* (Patrick Lencioni 著作) をモデルにした組織の健全性についてのプレゼンテーション。プレゼンターの Michael Lorsch は、非営利団体のリーダーが資金集めやマーケティング、戦略、テクノロジーなどの従来の方法に専念しすぎていることを批判する。その代わりに、リーダーや団体は健全性に焦点を合わせるべきであると主張する。健全な組織とは、権力闘争、かけひき、混乱が少なく、道徳や生産性が高く、離職が低い組織であると述べる。

概略：4つの規律

### 規律1：結束力のあるリーダーシップ・チームの構築

信頼に基づく結束力のあるチームを築く。権力闘争やかけひきなどをなくし、効率を良くする。それには、各人のユニークな長所と短所を理解し、建設的な対立に関与し、お互いの行動に責任を持たせて、グループの決定に委ねる。

### 規律2：透明性の確保

健全な組織は混乱を最小限に抑えなければならない。それには以下の質問が重要となる。

- 1) 私たちはなぜ存在するのか？
- 2) どのように行動したらよいか？
- 3) 何を行ったらよいか？
- 4) どうしたら成功するのか？
- 5) 現在、一番重要なことは？
- 6) 誰が何を行うのか？

### 規律3：透明性の浸透

健全な組織はキーとなるメッセージを繰り返す。メッセージをシンプルに保ち、多数の手段で伝達し、次へと転送する。

### 規律4：透明性を高める

健全な組織は、雇用、管理の実行、報酬や表彰、解雇にも一貫性を維持する。

### 規律1：結束力のあるリーダーシップ・チームの構築

5つの行動原則

1. 信頼を築く：信頼を築くには自分をさらけ出さなければならない。お互いに信頼できるチームメンバーはオープンであることに抵抗を感じない。失敗や弱点、恐怖にさらされても心にゆとりがある。

2. 衝突に熟達する：対立や矛盾が生じる場合は話し合いを要求する。お互いに信頼できれば、チームはフィルターを通さないアイデアや問題などのイデオロギー的論争に関わることができる。
3. 実行責任を果たす：衝突を求め、同意を得たり、最終決定の実行責任があることを明らかにする。
4. 説明責任を追及する：困難な問題に取り組む。実行責任が設けられたら、チームメンバーは行動がチームにとって非生産的となった場合にお互いに説明責任を追及する。
5. 結果を重視する：集団的な結果に焦点を集める。集団的なチームの結果は部署や個人的な目的と追求よりも優先しなければならない。

# 実現させよう： 知的障害のある人の自営サポート



Michelle McIntyre & Kristyn gain

## なぜSelf Employment(自営)？

以下に適している

- ・「丸い穴に四角いくい(不適応者)」という概念
- ・選択の自由と柔軟性

支援の様々な程度を考慮する

現在の労働市場

生まれつきの才能に注目する



# ECTとは？

Emergency Compost Toilet  
非常用コンポストトイレ



平らに折りたためるトイレ  
自然災害発生時にすぐに使える。

- ・安全で衛生的
- ・エコフレンドリーな素材
- ・屋内利用向け

## クライストチャーチの地震と 民間による防衛の取り組み



2011年2月  
死者150人  
一部の人々は18か月もの間トイレなどの  
公衆衛生設備がない生活をした。



悲劇から学ぶ



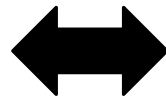
# 社会的企業

人間や環境の改善に取り組む組織



© Can Stock Photo - csp11371345

パートナーシップ  
ニーズと一致



人々がやりたい仕事、  
できる範囲の仕事を探す

## フレキシブルな契約ベースの労働者を探す

# Have-a-Go(試してみる)ワークショップ

## 実践学習の体験



サービス利用者がその仕事に関心があるかどうかを実践した上で決めることができる。



このワークショップにより、Mattはこのパートナーシップが実行可能なビジネスオプションかを決めることができる。

## 大学との契約



プランニング...



実行！



6週間で60のトイレを製造



# 安全衛生

トレーニング

から

独立



産業の優良事例 — 例外なし  
サービス利用者の学習方法には制限がある。  
Tool Box Talks（安全問題などを話し合う定期的なミーティング）

# 有給雇用

雇用主の観点から  
賃金を見ると



最低賃金以上  
の支払

# サービス利用者への金銭面以外の利点

自分で決定する力を得られる

安全作業の練習を学び、取り入れることができる

不安をうまく処理し、やり遂げることができる

良い業務習慣と労働倫理を学ぶことができる

個人の限界と、様々なものがどのように影響するかを知ることができる。

例えば：

- ・食べ物
- ・飲物
- ・睡眠

## チームのコメント

「この仕事が大好き」

「仕事をするのがおもしろい」

「仕事をしていることに誇りをもてる」

「通常の仕事をしている人と同じだと感じることができる」

「ベッドから出て仕事に出かける動機ができた」

「こんなことができるとは思っていなかったが、できた！」

「疲れたと思った時でもやり遂げ、日々の仕事ができることを誇りに思う」

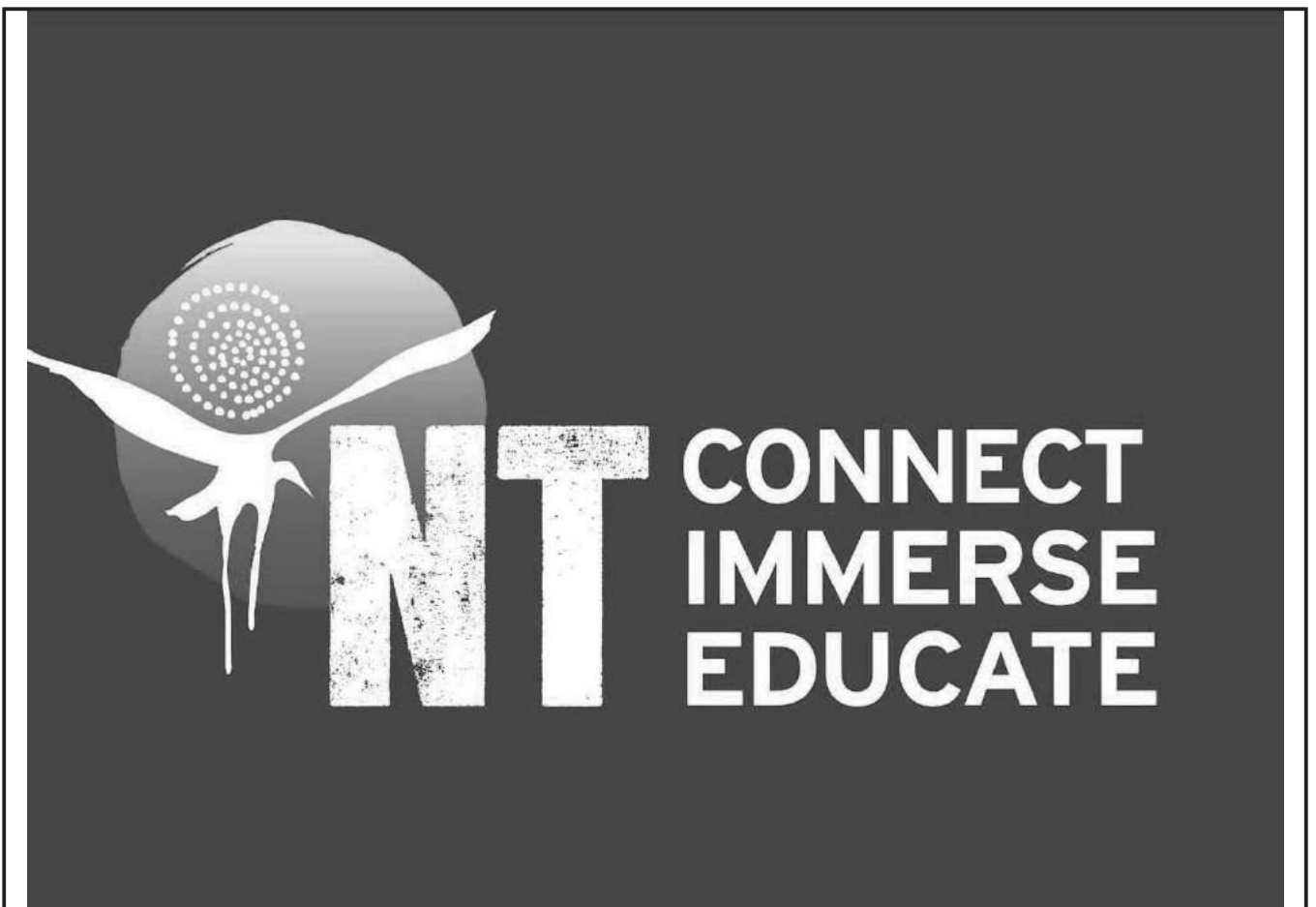
「この仕事をするようになってから、もっと栄養のある食べ物を食べるようになった」

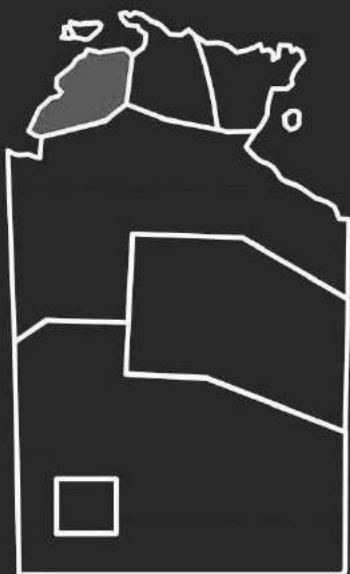
「仕事は本当に疲れるけど、おもしろい！」

ワーカビリティ会議 プレゼンテーション

Remote Australiaにおける  
障害のある人々のために認識されなければならない問題

# オーストラリア 北部特別地域 のケース





# ダーウィン

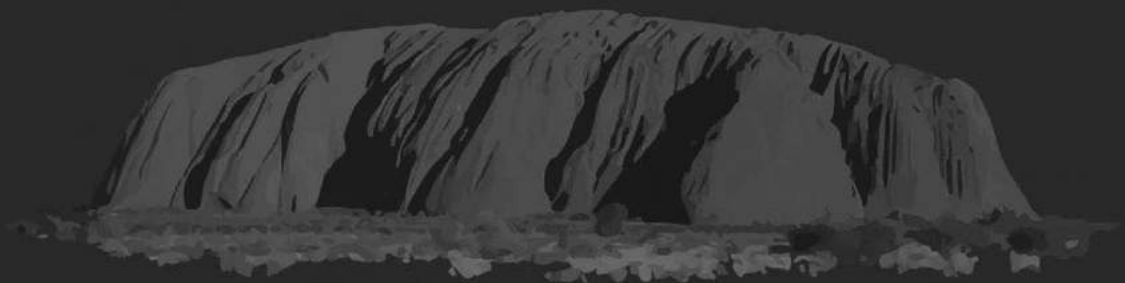
オーストラリア唯一の  
熱帯都市



# アリス スプリングス

格差と孤立が  
革新をもたらす

ウルル



国の象徴

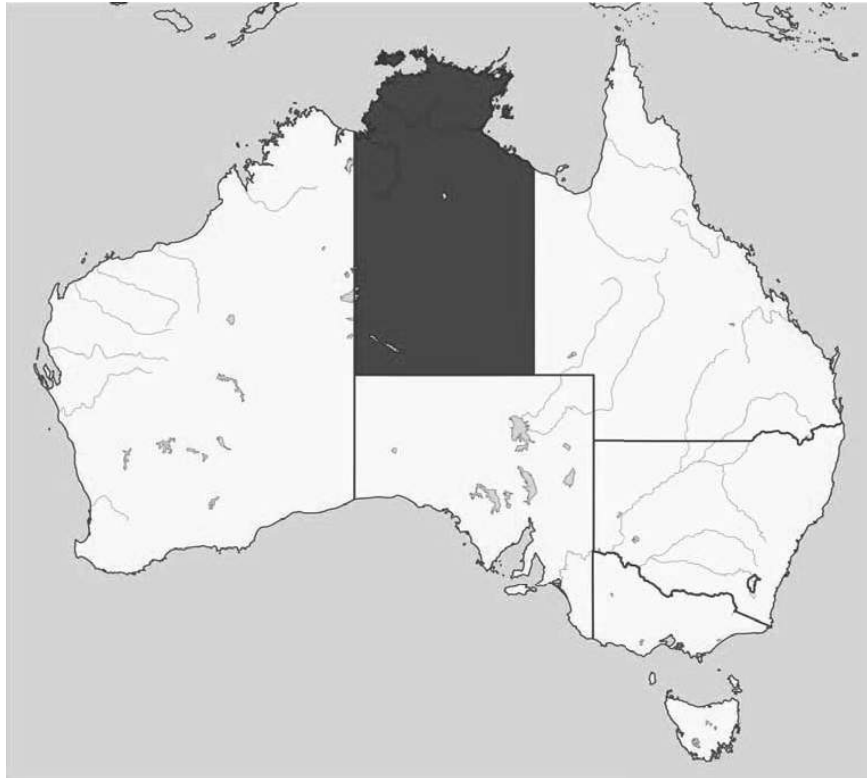
オーストラリアで2番目に  
経済的に**急成長**  
している







地方と都市

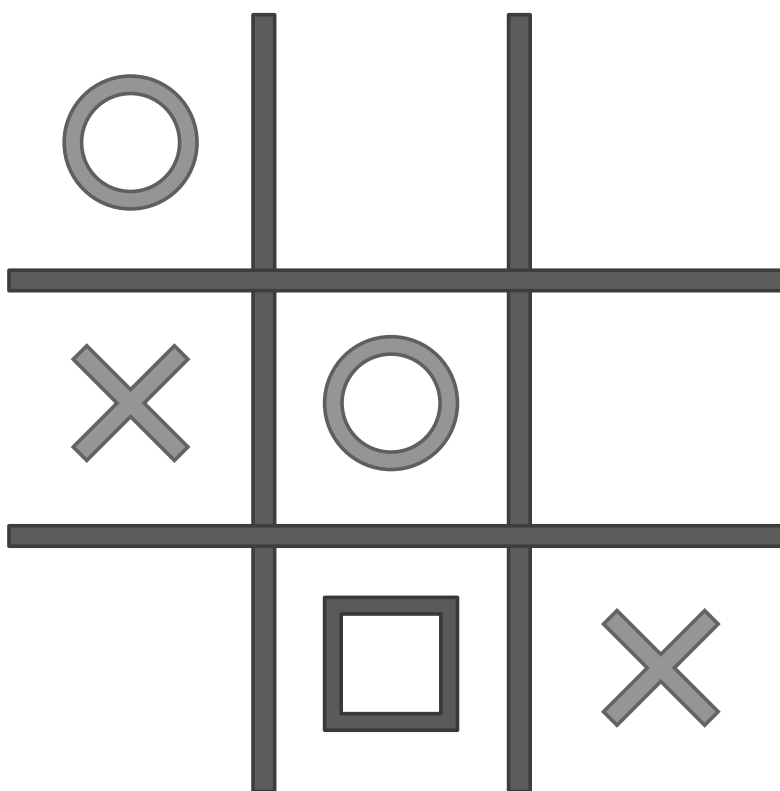


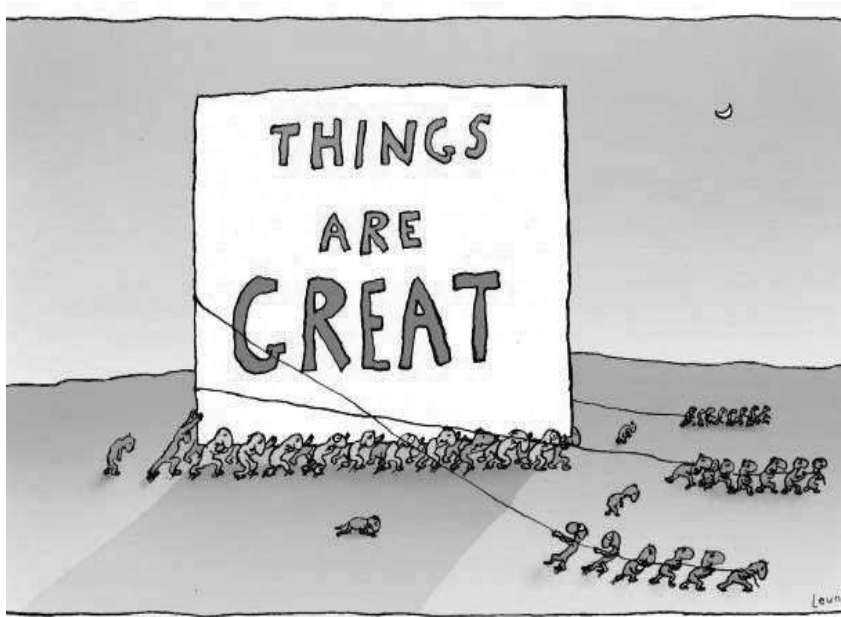
ラミンジニング コミュニティ



ガプウィヤク コミュニティ









#### ※通訳者による参考資料

##### オーストラリア北部特別地域:

オーストラリアには様々な人種が住んでいる。アメリカ合衆国とほぼ同じ面積であるが、アメリカの人口が3億1900万人に対し、オーストラリアの人口は2300万人のみである。ほとんどの住民は海の周辺に住み、ある地域ではアメリカ、また他の地域ではドイツを思い浮かべさせるような場所がある。

北部特別地域は非常に苛酷な気候で、そこに住む原住民は英語を話さず、独自の言語を使っている。

原住民は貧しく、将来の予定を立てる余裕がないため、その日暮らしを余儀なくされている。子供たちの学業にも制限があり、欠席する子供が多い。

アルコールに感化された子供たちも見られる。

障害者の親は子供を連れ去られるのを恐れるため、自分の障害を報告しない。

生活環境には制限があり、1軒に16人が住んでいる。

National Disability Servicesでは、次のようなサービスを提供している

障害者支援サービス: 24時間体制

ファミリーサービス

金融的サービス: 緊急事態への救済

青年およびファミリーサービス: カウンセリング

# ネパールの地震と 障害者の生活に与える影響について

Mr. Ram Prasad Dhungana

NRCDネパール 代表

RIネパール書記

&

Mr. Lok Bahadur Khatri

NRCD Nepalシニア職業訓練インストラクター

ID people副議長

## いつ、どこで、何が起こったか？

- 2015年4月25日と5月12日正午、ネパールで壊滅的な地震が発生。
- 震源地はチベット国境に近い山の多いエリアにあるカトマンズ東部。
- 首都カトマンズとその周辺地域では、沢山の犠牲者が出た。
- 記録された死者は9,000人を超え、25,000人以上が重傷、数千人が行方不明、3,000人以上が回復不能の障害を負った。
- 数百万人が精神的外傷を受け、600,000人が家を失い、400,000の家屋が部分的損害を受けた。
- 障害のある人々の状況はさらにひどくなっている。
- 多くの人々が長期に渡る障害の危険性にある。これまでに3,000人を超える人々が回復不能な障害を負った。

## 続き

- 300人の障害者が命を失い、5,000人の障害者が家を失った。700人の障害者は家族を失い、10,000人の障害者の家屋が部分的損壊を受けた。
- 家族を持つ障害のある家の所有者は彼らの家が完全に倒壊してから、はるかに弱い立場にある。
- カトマンズ溪谷に住んでいる障害者と一緒にいる学生は、彼らがかつて住んでいた家が倒壊したり、ダメージを受けたため、より沢山のものを失った。
- この地震によって家族を失ったり家が倒壊したり、大きな被害を受けた障害者数はまだ調査されていない。
- 復興やリハビリテーションプログラムで、障害者が見落とされるリスクはより大きい。

## 続き

- 救援活動や食糧、テントの支給が家を失った人に行われたと政府はアナウンスしたが、障害者は優先されていない。
- この間、障害者のデータベースの作成はもっとも不可欠な部分のため、アドボカシーのツールを手に入れる。
- 障害者団体、障害者、障害者の親から聞き取りをして、犠牲となった障害者のデータベース作成を計画している。
- その他、障害者とその家族へのカウンセリングサービスを行い、彼らが地震後の状況に耐えられるようにする。

## なぜネパールの障害者に緊急支援が必要なのか？

- 地震後の復興において、それぞれの対象を支援する沢山の救援組織や部門がある。
- 障害者は優先されない。そのため、この社会的弱者を支援し、政府の住宅計画において障害者を主流に入れることが不可欠である。
- このような状況の中で、救援物資の提供や一時シェルター、職業スキル、カウンセリングなどのリハビリテーションサービスが現在障害者のニーズに応えるものとして緊急に必要とされている。
- 障害のある人、高齢者、女性、子供、妊婦の状況はとても悲惨で憂慮するものである。

## すべての寛大な人々へのアピール！

- これらの怪我をしたり被災した悲劇の人々が食糧やテント、医薬品や補助具などのあらゆる支援を強く求める状況を表す言葉はありません。
- これまで以上に支援が必要です。ネパールのこの悲劇的で深刻な状況に出来る限り手を差し伸べてください！
- ほんのわずかな金額でもネパールで被災した障害者には大金になります。彼らは家を、財産を、家族を失い、緊急の支援を願っています。
- 今、私たちの前にはより大きな問題が立ちはだかっています。それは住居です。

## 続き

- ご存知のとおり、ここネパールはモンスーンシーズンを迎えます。私たちは激しい降雨と地すべりに毎日対処しなければなりません。
- 数週間から数か月耐えるには、仮設シェルターでは役に立たない可能性があります。
- そのため、NRCDネパールはすべての被災した障害者に常設のシェルターを支援したいと希望しています。
- 私達は最近、500米ドルという低予算の常設シェルターについて、エンジニアと会議を開きました。
- これまでの私たちデータによると、障害のある5,000の家族が地震によって家や土地を破壊されています。
- そこで私はNRCDネパールの代表として、皆さんができる限り、支援の手を差し伸べてくださるよう、お願いいたします！

## 重要情報:

- 私達はこの件について写真を送ろうとしましたが、Eメールで送るには容量が大きく、残念ながら送ることができませんでした。
- そのため、今回写真をペンドライブに入れて持参する「予定」です。
- ご理解をお願いいたします。



プレゼンテーションはDhungana氏がビザを取れなかったためにキャンセルされました。このセッションの主催者側から以下の要約がありました。

2015年5月12日の地震による死者は9,000人以上、重傷者は2万5000人で3,000人が回復不能の障害者である。

障害者は優先度が低い。そのため、彼らへの一時的な住居、職業訓練、カウンセリングが至急必要である。

ネパールではモンスーンシーズンがやってくるため、仮設シェルターでは不十分である。常設のシェルターを必要とする。そういったシェルターは1件につき500米ドルで建設できる。

皆様、ネパールに寄付をよろしくお願いします。



## サンディエゴ・グッドウィル・インダストリーズ (GISD) の一日

廃棄物ゼロまでの道



## 寄附と再利用を通して コミュニティを作る

仕事を得ることによって生活を変える

## カリフォルニア州

- AB 341は、カリフォルニア州に対し、2020年までにリサイクル目標の75%を達成するように求めている。
- 全ての管轄は、毎年CalRecycleに転換率とその実践を報告する必要がある。
- この目標は、管轄が独創的なことを考え、転換を増加させる革新的な方法を見出すよう働きかける。



3

## 地方自治体

- 自分の地域を認識する。
  - サンディエゴ郡には18の市がある。
  - 郡は、地方自治体に属していない地域を代表する。
- 誰が廃棄物ゼロプランや条例を制定する過程にあるかを調べる。
  - 自分の地域で廃棄物ゼロのリーダーとされる地方自治体と関係を築く。
  - もし無い場合、地方自治体にもちかけ、関心を持たせるようにする。



## 関係を築く

- 地域の会合に参加する。
  - TAC
  - CAC
  - SDRRN
  - ステークホルダーとの会合



## 見学

- キーとなるリーダーを自分の施設の見学のために招待する。
  - GISDの一日
- この産業の他の企業とベストプラクティスを共有する。



## 見学



## 私たちのコミュニティパートナー

- Waste Haulers
  - WM
  - EDCO
  - Republic
- レゴランド
- サンディエゴ動物園  
サファリパーク



## デル リコネクト

- GISDの信用を高める
  - データの安全性を確実にする。
  - ダウンストリームプロセスを確実にする。
- 地方自治体と寄付活動を提携する際のすばらしい手段となる。
  - 再販売や責任あるリサイクル機器。



Dell  
**Reconnect**  
Technology recycling with Goodwill®

## コミュニティ イベント

- アースデイ（地球の日）
  - 4月に11のイベント
  - バルボア後援のアースフェア - 60,000+
  - 毎月1日に寄附しましょう
    - オーシャンサイド市
    - チャリティ団体
- 電子機器の寄附
  - ニュニマーズ・メリル・カンパニーズ
- 学校での寄附
- 廃棄物ゼロのシンポジウム
  - 主催者 & プレゼンター



---

## 一貫性がある

---

- 常にテーブルにいることを忘れない。
- Noという答えを受け入れない！
  - 提案するサービスが管轄のためになる。
- パートナーシップは管轄の設定するペースで動く傾向にある。
  - 決してあきらめず、根気強くいる。
  - コミュニティ関係において、「確かな数字」はない。



---

## まとめ

---

- 自分のコミュニティでキーとなる管轄を見つける。誰が廃棄物ゼロへの道のリーダーか？
- 根気強く、彼らと連絡を取る。彼らからの連絡を待つはだめ。
- 公の集まりにはいつも参加し、彼らに最初に思い出してもらおう。
- グッドウィルの一日を見せる。施設を公開する。
- 寄附を増加させるために持続可能性を活用する。

---

## 連絡先情報

---

Beth Forsberg, V.P. Operations & Retail

[bforsberg@sdgoodwill.org](mailto:bforsberg@sdgoodwill.org)

619-225-2200 Ext. 120

Or

April Andrews, Sustainability Manager

[aandrews@sdgoodwill.org](mailto:aandrews@sdgoodwill.org)

619-225-2200 Ext. 367



アイルランドの社会福祉企業のための  
地域およびヨーロッパ生活協同組合

ワーカビリティ & グッドウィル・インダストリーズ  
会議

**持続可能性プログラム**

役員 Michael Horgan  
2015年6月21日 サンディエゴ



# 私たちがしていること

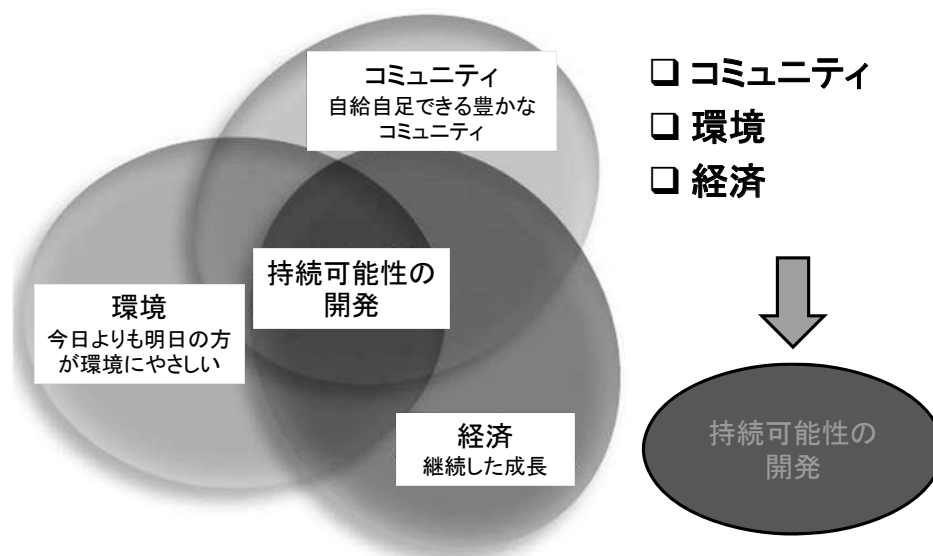
RECOSIの主な目的は、社会的企業および産業界両方の資源と専門知識を組み合わせることによって、意味のある有効的な手段で、社会的企業の商業活動を発展させることである。

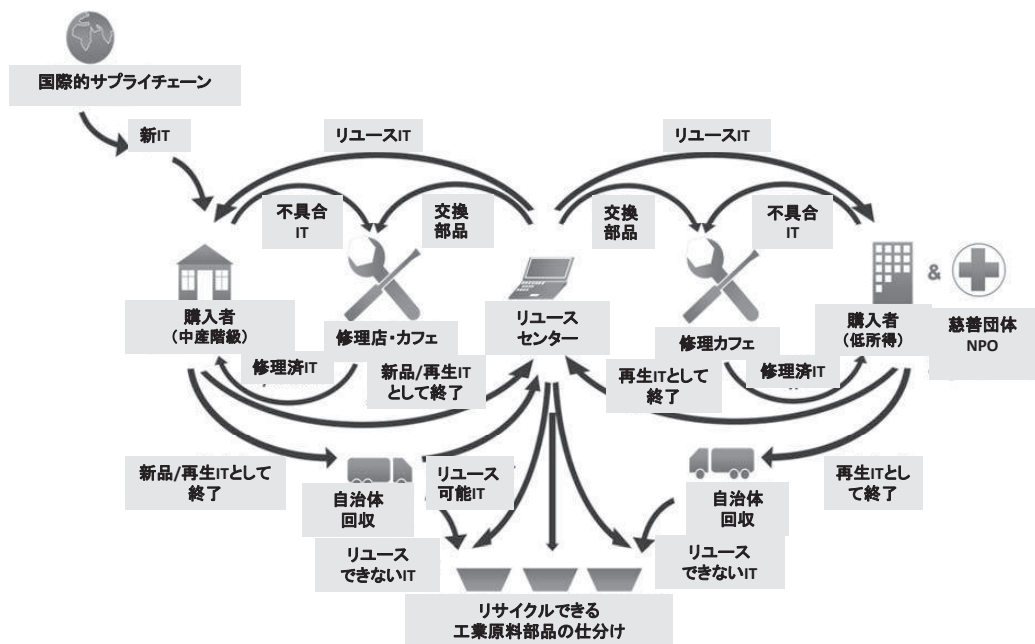


障害のある人や仕事を簡単に見つけられない人々のためにより多くの仕事を作り出す



## 持続可能性の開発





## コミュニティ

- コミュニティへの関与:
  - ステークホルダーとして
  - 顧客として
  - 受益者として
- 不利な立場にある人々の雇用
- 社会から取り残された人々や低所得者のための高品質で低価格なIT機器へのアクセスを向上させることで情報格差を埋める
- 金額に見合う価値



## 環境

- 最初からきちんとする
- リユースの全ての可能性を引き出す
- IT機器をリユースすることで、ごみ廃棄場のごみを減らし、焼却、投棄、不法な輸出の可能性を防ぐことができる



Responsible™  
Recycling



## 経済

- ☐ 自分の市場を知る
- ☐ 機器を提供する
- ☐ プロセス(システム、基準、手順)
- ☐ 市場および商業化
- ☐ 雇用の創出



## 製品の提供者

- 消費者
- 小売店
- Weee Pledge's



## 製品の提供者 続き

- B2B
- 寄附
- 商業団体



## 製品の提供者 続き

- 地方自治体
- 学校
- パソコンの買い取り



## 資源回収

- 金融サービス
- 前リース会社
- OEM企業
  - Dell
  - HP
  - Lenovo
  - Apple
  - Gateway

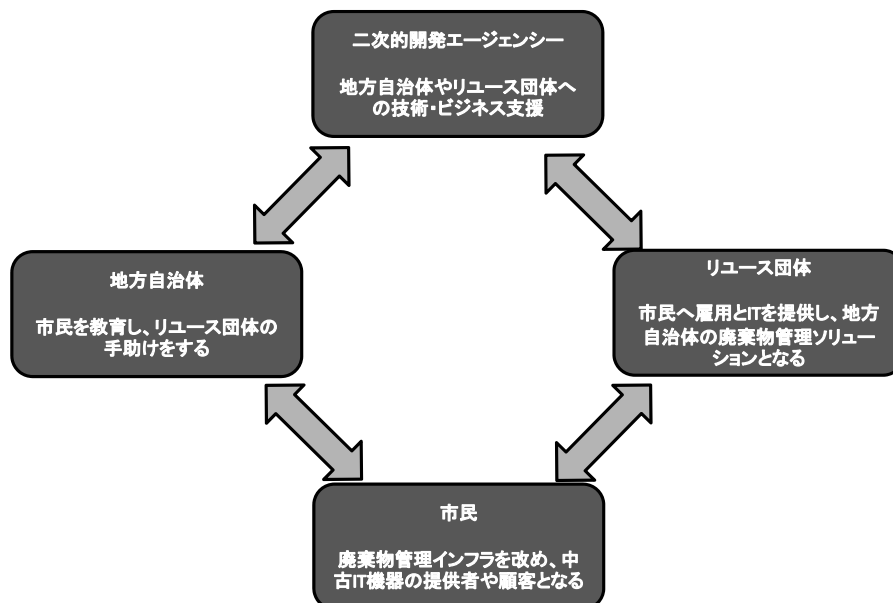


## RECOSIモデル

- ❑ 地域の起業家や現存するリユースセンターのビジネス支援
- ❑ リユース/資源回収システムを立ち上げて運営するセンターの技術支援。
- ❑ センターネットワークの発展と会員組織に対するサプライヤーとの好条件の交渉。
- ❑ リユース製品の販売利益を最大化できるように支援。
- ❑ 上記を達成するための総合的なトレーニングプログラムを提供する。



## RECOSIモデル



## 連絡先

[www.recosi.net](http://www.recosi.net)  
[info@recosi.net](mailto:info@recosi.net)  
[michael@recosi.net](mailto:michael@recosi.net)



ご清聴ありがとうございました 😊



WI セッション：健全な組織（オーストラリアのシドニーの事例）

今年の1月に Bedford Group と Phoenix Society がオーストラリアで2番目に大きな障害者企業（介護付きの雇用）を設立した。

背景：オーストラリアでは400万人の障害者がいる。それは人口5人につき1人となる。  
働ける年齢（15～64才）のうちで210万人が障害者である。  
80%の一般人が仕事についているのに対し、障害者の40%しか仕事についていない。  
約340万人のオーストラリア人が身体障害者で、知的障害者は70万人である。  
90%の障害者は、身体上一般人と区別ができないので外からはわからない。  
オーストラリアの45%の障害者は、貧困ラインのあたりかそれ以下の生活をしている。  
よって、障害者のために有意義な質の高い雇用と研修を提供することが重要である。

これは私たちが健全な組織でなければならないことを指している。

Bedford は4年前には素晴らしい組織に見えた。しかし、組織は縮小され、投資は目減りし、キーとなる顧客は予想していたよりも健全でなく、スタッフのモラルは低く、品質管理システムは遅くて役に立っていなかった。

健全な組織とは、柔軟性があり、立ち直る力があり、組織の周りの環境が変わったらそれに応じて変化することができる。健全な企業は内からではなく外からの戦略を築くことから始まる。

それには戦略を動因する要因リストを作成することが必要となる。

政府機関（政府方針の変更、プラバシー法など）

人口（人口の高齢化、パートタイムへの切り替え、人種や社会経済の多様性の上昇）

商業（経営する企業）

経済（マクロピクチャー）

環境（エコフレンドリー）

次に、それぞれの要因に対する3つの解決策を識別する。

象徴的な成功したブランド

Virgin、Oprah、セサミストリート、グーグル、ツイッター、レッドクロスなど。

これらのブランド社があなたの問題にどんな係りがあるか考える。組織の内から見てみると発見できないアイデアが提供されていることに驚くだろう。戦略に対するこのアプローチにより、隠れた機会を発見することができるだろう。

インスピレーションは色々なものから発生するが、業務に関して異なった観点を採用することにより、根本的に私たちの事業を変えることができる。

私たちが採用したモデルは、アメリカの College of William & Mary が考え出した Eight Ways to Win in Retailing（小売業で成功する8つの方法）である。

これには5つの要因がある：

1. 場所（施設の場所、大きさ、見栄え）
2. 製品（提供するもの、内容）
3. 価値（高い質を安く）
4. 人（サービスのレベル、質、スキル、経験）
5. コミュニケーション（どのように顧客とコミュニケーションを取るか、販促、ブランディング）

私たちは今では新しいモデルを築き、顧客が中心となり、そこから相当な恩恵を受けている。





# RECOSI

Leaders in Social Industry

**Regional and European Co-Operative**

**for Social Industry**

(社会福祉企業のための地域およびヨーロッパ  
生活協同組合)

ワーカビリティ & グッドウィル・インダストリーズ会議

**リユースビジネスの事例**

役員 Michael Horgan

2015年6月21日 サンディエゴ

## 私たちがしていること

RECOSIの主な目的は、社会的企業および産業界両方の資源と専門知識を組み合わせることによって、意味のある有効的な手段で、社会的企業の商業活動を発展させることである。



障害のある人や仕事を簡単に見つけられない人々のために

より多くの仕事を作り出す



RECOSI

Leaders in Social Industry

# 今日のRecosi

- 情報セキュリティ管理
- バリューバックアセットリカバリー
- 電機電子機器廃棄物のリサイクル
- 収入源
- アメリカのMAR (Microsoft Authorized Refurbisher)\*
- Recosi & MAR
- ビジネス事例
- 資本用件
- システムと品質の基準

•RECOSI

## 情報セキュリティ管理



### • 確実な破壊

- 文書
- ハードドライブ
- CD
- 電話



## バリューバックアセットリカバリー サービス



- 資源を再利用するためにBlancoを使用  
してデータを破壊する。
- データ破壊報告書が営業日15日以内に返  
送される。

バリューバックが営業日15日以内にオフ  
ーされる。

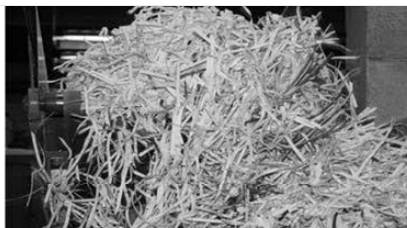
オフーが受け入れられると30日以内に  
支払われる。



マイクロソフト・オーソライズド・リファーマービッシャーに  
よって、使用済みパソコンが専門的に再生される。



## ● 電機電子機器廃棄物のリサイクル



IT機器  
廃棄電子製品  
EPS  
ダンボール  
紙製品  
ガラス製品



## 収入源

- 寄附
- サービス料 (収集 & クリーニング)
- データ消去の法律に応じる
- 中古パソコンの再販売
  - 店舗販売
  - インターネット販売
- パソコンのアップグレード
  - MAR プログラム
  - 新しいドライブ
  - OSシステム





## イギリスとアメリカの市場比較

### イギリス

- 人口 6,300万人
- 13のMAR業者
- 777 Microsoft 登録中古PC再生団体
- 市場価値 30.5億ユーロ

### アメリカ

- 人口 31,890万人
- 24 MAR業者
- 11 Microsoft 登録中古PC再生団体
- 市場価値 €??

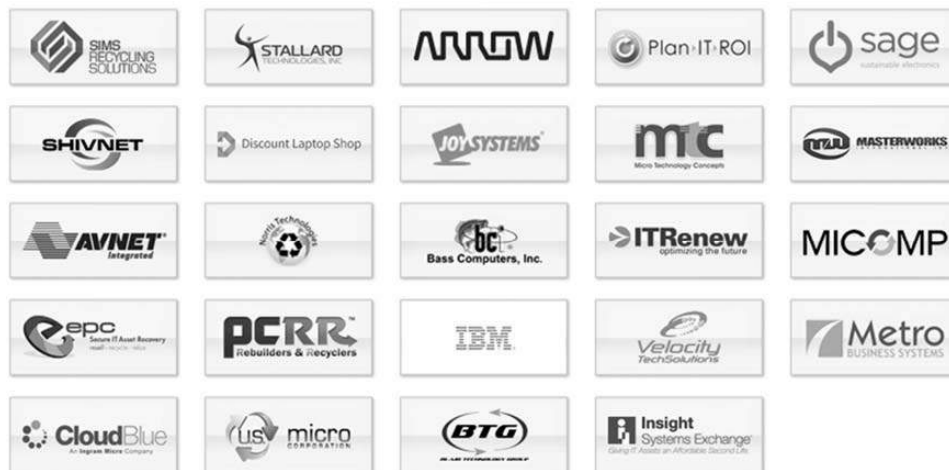


## アメリカのMar 中古PC再生団体

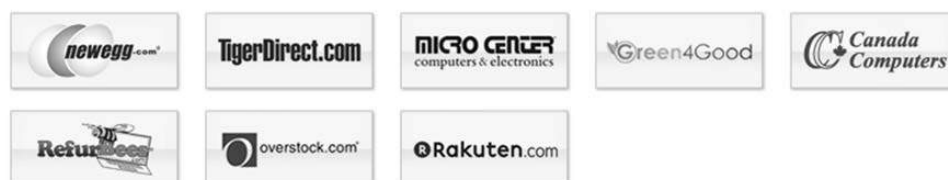
•Sims Recycling, SolutionsStallard Technologies,  
Inc.Arrow Value RecoveryCertified Nused  
ComputersSage Sustainable ElectronicsShivnetDiscount  
Laptop ShopJoy SystemsMicro Technology  
ConceptsMasterWorks InternationalAvnet  
IntegratedNorris TechnologiesBass Computers,  
Inc.ITRenewMicompEPCPCRR - Rebuilders &  
RecyclersIBMVelocity Tech SolutionsMetro Business  
SystemsCloud BlueU.S. Micro CorporationBlair  
Technology GroupInsight Systems Exchange

•RECOSI

## アメリカのマイクロソフト・ オーソライズド・リファーマービッシャー



## アメリカのマイクロソフト認定 小売業者



## パソコンを慈善団体、非営利団体、 学校、政府機関プログラムに 販売することに取り組む

**Microsoft  
REGISTERED**  
Refurbisher

Microsoft Registered Refurbisher  
になりましょう

Microsoft Registered Refurbisher プログラムは、正規の Microsoft 製品がプレインストールされた、プロの手による再生中古 PC を供給する際に、世界中の他の再生事業者を小規模の再生事業者向けのプログラムです。当該地域の一般消費者や企業、および適格慈善団体、非営利団体、学校、政府プログラムに、Microsoft ソフトウェアがプレインストールされた再生中古 PC を供給することを希望する世界中の小規模のパートナー向けのプログラムです。

Registered Refurbisher プログラムには、2 つのタイプのライセンスが用意されています。商用ライセンスは、一般消費者または小規模事業主を含むすべての顧客タイプに対応した供給用ライセンスです。シチズンシップ ライセンスは、教育機関、非営利慈善団体、特別に承認を受けているその他団体などの特定の顧客グループに対してのみ供給できるライセンスです。対象製品は、ライセンスのタイプと国によって異なります。

今すぐ参加する



## 資産管理、廃棄、パソコンの再生、そして 再販売(MAR)の産業リーダー

**Microsoft  
REGISTERED**  
Refurbisher

Microsoft Registered Refurbisher  
になりましょう

Microsoft Registered Refurbisher プログラムは、正規の Microsoft 製品がプレインストールされた、プロの手による再生中古 PC を供給する際に、世界中の他の再生事業者を小規模の再生事業者向けのプログラムです。当該地域の一般消費者や企業、および適格慈善団体、非営利団体、学校、政府プログラムに、Microsoft ソフトウェアがプレインストールされた再生中古 PC を供給することを希望する世界中の小規模のパートナー向けのプログラムです。

Registered Refurbisher プログラムには、2 つのタイプのライセンスが用意されています。商用ライセンスは、一般消費者または小規模事業主を含むすべての顧客タイプに対応した供給用ライセンスです。シチズンシップ ライセンスは、教育機関、非営利慈善団体、特別に承認を受けているその他団体などの特定の顧客グループに対してのみ供給できるライセンスです。対象製品は、ライセンスのタイプと国によって異なります。

今すぐ参加する



# RECOSIはメンバーのための MAR 提供者

RECOSI が提供するサービス内容:

- ISM; (情報セキュリティ管理) データセキュリティ/保護;
- ARS; (資源回収 / リユースサービス) IT 在庫の再販売
- リサイクル; 電機電子機器廃棄物の再販売;
- システムおよびプロセス管理; EU広域システムの開発と標準操作手続き (SOP).



## ビジネス事例

| 製品                   | 仕様                                                                                                                             | 再生コスト | 付加価値税抜きの販売価格 | 利益    |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------|-------|
| Dell E6400 Laptop    | Intel Core2 Duo P8600 2.GHz / 4GB / 160GB / DVD-RW / 14" Wide / New Battery / 1 年保証 /Win 7 Pro/Office H&B 2010/MS Security Ess | \$25  | \$218        | \$193 |
| Lenovo Thinkpad T410 | i5-M520 2.4GHz / 4GB / 160GB / DVD-RW / 14.1" 1440 x 900 / New Battery / 1年保証 /Win 7 Pro/Office H&B 2010/MS Security Ess       | \$28  | \$305        | \$277 |
| HP DC7800 SFF PC     | Intel Core 2 Duo E6550 2.33Ghz / 80GB / 2GB / DVD / 1 年保証 /Win 7 Pro/Office H&B 2010/MS Security Ess/ キーボード & マウス              | \$23  | \$143        | \$120 |
| HP 8100 SFF PC       | Core i5 650 3.20Ghz / 250GB / 4GB/ DVD / 1 年保証 /Win 7 Pro/Office H&B 2010/MS Security Ess/ キーボード & マウス                         | \$29  | \$305        | \$276 |



## 資本用件

| アイテム                      |  | コスト               |         |
|---------------------------|--|-------------------|---------|
| CCTV & セキュリティ             |  | 15,000            |         |
| シュレッダー                    |  | 10,000            |         |
| セキュリティルーム                 |  | 20,000            |         |
| Altiris & Tabernus Server |  | 6,000             |         |
| Wiring & Switches         |  | 20,000            |         |
| 棚 & モバイルケージ               |  | 20,000            |         |
| 作業台 & 道具類                 |  | 15,000            |         |
| ARS                       |  | 14,000            |         |
| 見積合計                      |  |                   | 120,000 |
| 労働費を含めた返済                 |  | 500 台 @ \$240 の利益 |         |



## システムとプロセス管理

•RECOSIは各メンバーに技術とビジネス開発のサポートを行うとともに、それぞれの地域でこの市場を処理、開発するため、関連するシステムや標準操作手順書「SOP」を提供します。



## 品質基準...

- 品質保証 ISO 9001
- 環境マネジメント ISO 14001
- 情報セキュリティマネジメント ISO 27001
- 労働安全衛生 OHSAS 18001
- PAS 99に基づいた統合マネジメントシステム (労働安全衛生、環境、情報セキュリティ、品質水準の統合)
- 承認された再生電気製品 PAS 141



## Recosiのパートナー

**Microsoft**  
REGISTERED  
Refurbisher



**TRADELOOP™**  
Home of the Secondary Computer Market



# 連絡先 & ウェブサイト情報

## 連絡先

- [info@recosi.net](mailto:info@recosi.net)
- [www.recosi.net](http://www.recosi.net)
- [michael@recosi.net](mailto:michael@recosi.net)

## 販売ウェブサイト

- [Studentshop.ie](http://Studentshop.ie)
- [Greenit.ie](http://Greenit.ie)
- [Recositech.com](http://Recositech.com)
- [Recositech.co.uk](http://Recositech.co.uk)



# メンバーシップ

- メンバーシップは持続可能な事業を作ることに関心のある全ての社会的企業を受け入れています。
- 他の特定利益団体とは異なり、RECOSIは社会的企業の 商業的發展のみに関心を持っています。
- RECOSI のメンバーシップである事業パートナーの受け入れは、単にRECOSI のネットワークの商業化と市場価値の強化にすぎません。
- RECOSI のメンバーシップは理事会とRECOSI ネットワークの発展とその商業化を担う中央事務局のある社会的協同組合として活動します。



# Mathematicaのジョブスタディ



## 社会的企業とは？

- 一般の定義

社会的企業は、使命を重視する企業で、社会的使命に取り組むために経営手法を活用する。

- RFDFの定義

社会的企業は使命を重視する企業で、仕事に障壁がある人を雇用し、支援するために経営手法を活用する。

- 社会的企業は

- ・革新的な仕事を行う非営利団体ではない。
- ・チャリティキャンペーンを行う事業ではない。

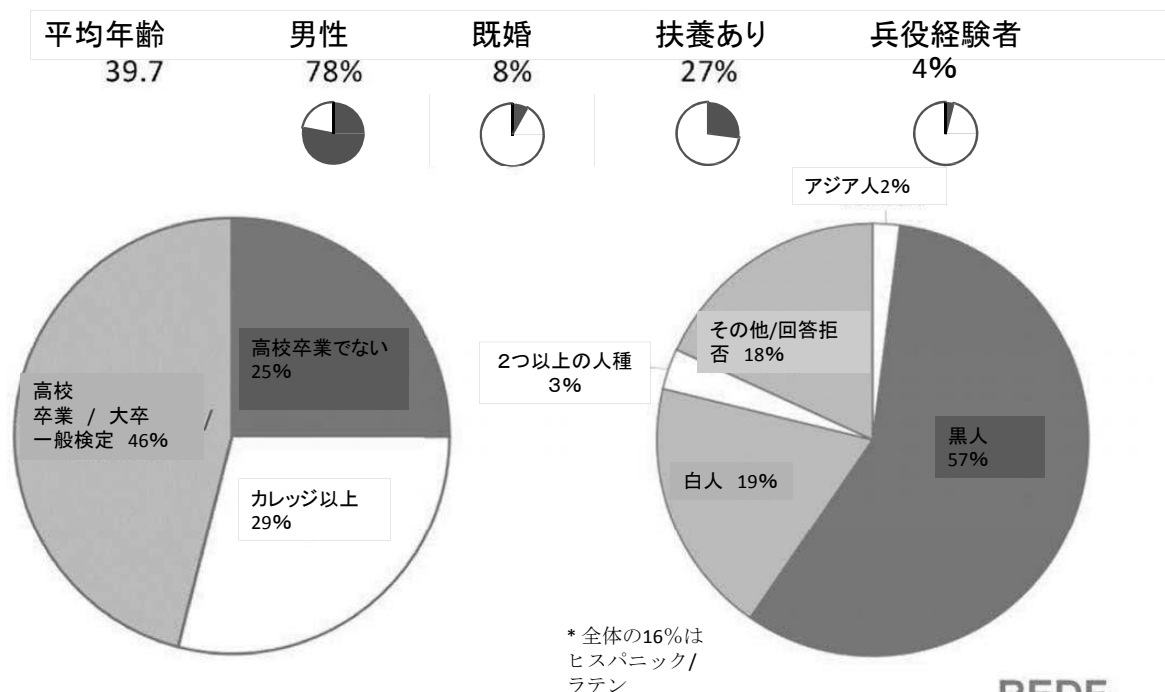
- 例

- ・コミュニティ ハウジング パートナーシップ(サンフランシスコ)
- ・雇用機会センター(NY/OK/CA)

## REDFの社会的企業



## 人口統計



## Mathematicaのジョブスタディの概要

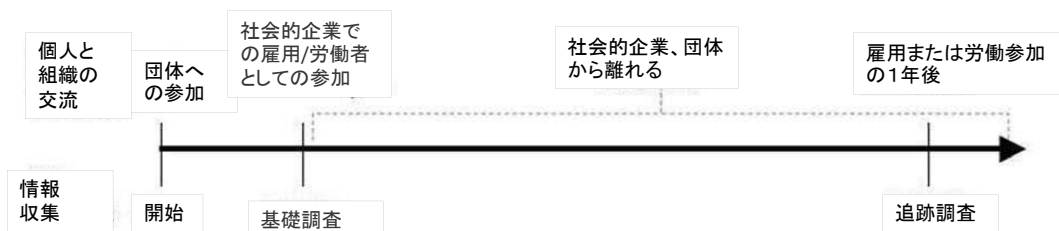
このスタディのゴールは以下を理解すること:

- ・社会的企業は複数の雇用の障壁がある人にどのように役に立つのか
- ・社会的企業で1年以上仕事を行なった後、労働者の経済的な自給と生活の安定がどのように影響したか
- ・個々の労働者と納税者に社会的企業がどのような価値をもたらしたか

### レポート内容

1. 労働者の社会的企業経験の特徴
2. 7つの社会的企業における1年後の個々の事前/事後結果
3. 社会的企業労働者と比較グループとの1年後の影響調査
4. 社会的企業、社会的企業の労働者、納税者、社会のコストと利益の分析

## 調査のタイムライン



#### 1. 情報の採用

- ・雇用サービス希望者を集める
- ・人口統計とバックグラウンド情報を含む

#### 2. 基礎調査

- ・社会的企業に選ばれたり雇用された個人を支援する
- ・個人の職歴や雇用障壁の詳細情報を入手する

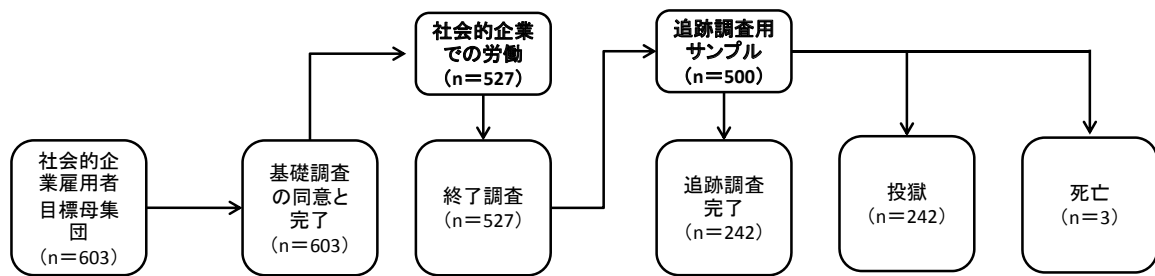
#### 3. 終了調査

- ・労働者が社会的企業から去った時か、半年後いずれか早い時
- ・この調査の追跡調査からの基本情報に使用

#### 4. 追跡調査

- ・基礎調査を終えて1年後のMathematicaジョブスタディ参加者を追う
- ・確認分析と予備解析の両方で使用されている結果の情報を入手する

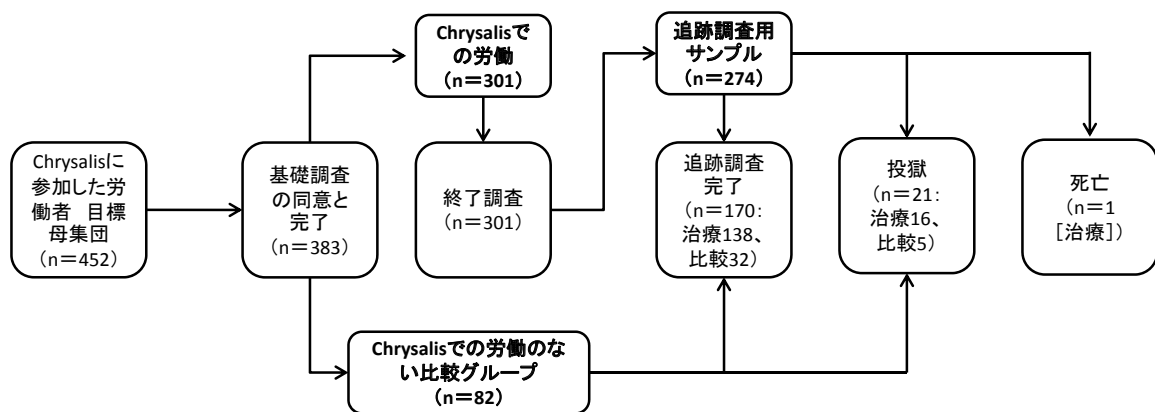
## 結果調査



・仕事を開始する前から1年後までの期間、7つの組織において社会的企業労働者の経済的な自給と生活の安定の変化を調査した。

・仕事を開始する前と1年後に収集した情報を比較し、その変化が社会的事業での雇用と関係しているのかを決める。

## 影響調査



- ・社会的企業の雇用の結果に与える影響を判断する疑似実験調査
- ・社会的企業のChrysalisに雇用された時と社会的企業に雇用された1年後（治療グループ）、および雇用されていない人（比較グループ）の集めた情報を比較する
- ・外的妥当性（結果を一般化する）を犠牲にして、より強力な内部妥当性（より厳密な社会的企業雇用効果の判断）を提供することで、調査結果を補足する。

## 費用対効果分析



医療



住居



犯罪



稼いだ賃金



政府移転収支

- ・社会的企業の労働者、社会的企業、納税者（社会的企業以外）、社会全体（総便益）に対する費用と利益の比較
- ・利益と費用は固定効果解析からの予測を利用して計算された。
- ・社会的企業労働者が社会的企業に雇用される約1年前と雇用1年後のデータを収集した。

## MJSの最終レポートの結果

- ・労働者は社会的企業で仕事を始めて1年後に経済的な自給を得た。  
社会的企業労働者は生活の安定と経済的自給にプラスの効果を持つ；  
健康上の効果は混ざっている。
- ・社会的企業は労働者の生活の安定に役立った。  
社会的企業の経験で、住居の安定と身体的な健康は改善されたが、精神的な健康は改善されなかった。
- ・雇用後のサポートが重要である。  
社会的企業労働者に対する雇用後のサポートは安定した住居、より多くの収入、うつ病の率の低さに関係する。
- ・社会的企業は価値をもたらす。  
社会的企業が費やした全てのお金は社会事業に関与しない社会や納税者に利益をもたらした。社会的企業は損益がなく、社会的企業労働者は損をする。

## 健康に関する調査結果

### 生活の安定の測定

- ・住居の安定
- ・常習的な犯行
- ・身体的な健康
- ・精神的な健康
- ・薬物乱用

社会的企業で働いている間、生活の安定を支えている

食料の確保の支援[28%]

(薬物乱用や犯罪の)再発を防ぐ[25%]

家庭内暴力サービス[16%]

身体的健康サービス[15%]

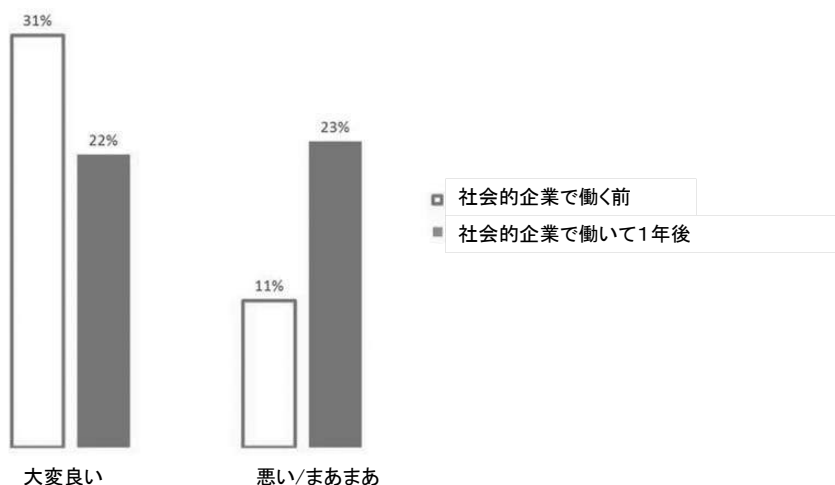
薬物乱用サービス[12%]

障害者支援[11%]

## 健康に関する調査結果

### 社会的企業で働いた1年後

- ・薬物乱用には顕著な変化がなかった
- ・うつ病を訴える率が高かった
- ・健康が優れていると答えた率が低かった。



## 健康に関する調査結果

### 考えられる理由

- ・本人による結果報告

結果が本人の健康に対する自己評価によるため

- ・質問のタイミング

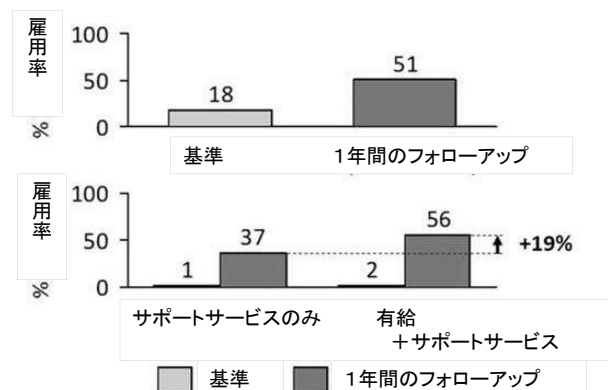
回答者は雇用されるためには良好な健康状態でなければいけないとし、回答を誇張した可能性がある。

- ・Ashenfelter Dipは一般的に新しい否定的な出来事がどのように影響して雇用プログラムを探す動機となったかを示し、雇用プログラムなしでも個人が改善した結果を出したために雇用プログラムの効果を誤って向上させた。

健康上の結果がこの違いかもしれない。楽観主義が一時的に高くなり雇用プログラムに登録する。その後楽観主義が普通のレベルに戻る。

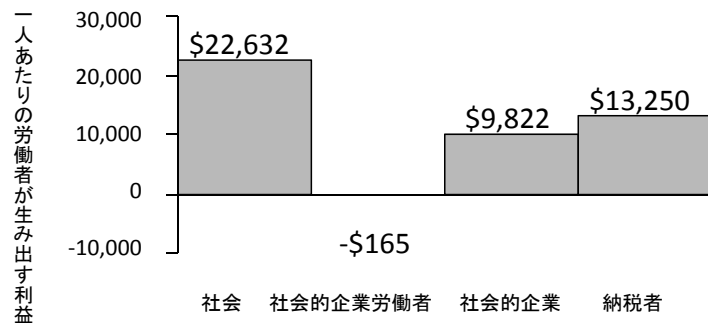
## 重要な観点

1. 様々なプログラムモデルを超えて支援的な移行ジョブモデルは労働力への参加向上に効果的である。
2. 支援サービスに加えた有給の労働経験はただサービスを受けるよりもより効果的である。



## 重要な観点

3. 目標母集団がより経済的に自立し、納税者の恩恵とサービスに依存することが少なくなるため、納税者は著しく利益を得る。
4. ポートフォリオに要する事前的助成金が社会の利益に対して少なかった。(社会のROIはとても大きい:572%)



## これらの結果により

REDFは以下からの結果を利用する:

- ・方針の変更を支持する
- ・資金提供者が社会的費用を負担するよう主張する
- ・社会的企業モデルを基準に増減する
- ・将来の研究を報告する

ディスカッション: 社会的企業モデルがあなたの人口にどのように役立つか?





## 機能するコミュニティ コラボレーション



2,020 

障害者が務めた

DIDLAKEプログラムを通して

267

人のコミュニティ  
雇用主が2014  
年度に仕事を提  
供した

385

人の従業員に  
対して

環境  
物流  
スタッフ  
施設管理

ビジネス  
サービス

リハビリ  
サービス

教育  
就職あっせん  
トレーニング  
移動手段



82%

障害者が全契約業  
務時間の82%を行  
なった



34

契約施設

我々の使命

Didlakeが障害者の生活を豊かにする機会を作り出すこと



## DIDLAKEのビジョン

可能性に富み、夢が実現されるコミュニティ



Didlake

## DIDLAKEの価値観

- ・人々
- ・コミュニティ
- ・正しいことを、正しい理由のために、正しい方法で行うこと



Didlake

### 従来のパラダイム

私たちが支援する人々はコミュニティの一部である—あなたが私たちをサポートすれば、私たちも彼らをサポートする。

### 新しいパラダイム

私たちの組織と人々はコミュニティに価値をもたらす—私たちをパートナーと見なし、強くて健全なコミュニティを築く。

Didlake 

### 何が効果的か？

ビジネス界とそのリーダーシップに係りをもつ

公共/民間のパートナーシップ

コミュニティのために働きかければ、コミュニティもあなたのために働きかける

Didlake 

## ビジネス界とリーダーシップの関与



**Manassas Business  
Council**



**Rotary Club Of  
Lake Ridge Virginia**



**Didlake**

## 公共/民間のパートナーシップ



*Didlake Grand Foyer*



**Didlake**

## 公共/民間のパートナーシップ



Project | SEARCH



Didlake

あなたがコミュニティのために働きかければ、コミュニティもあなたのために働きかける!



Didlake

ワーカビリティ・インターナショナル

年次総会

2015 年 6 月 22 日（月） 9 時 30 分～

ホテル・デル・コロナド、アメリカ、サンディエゴ

議案

1. イントロダクション

1.1 会長挨拶

1.2 出欠・定足数確認

1.3 議事録

2014 年 10 月 23 日（木）にスペインのマドリードで開催された年次総会議事録の承認

1.4 協議事項

議案の追加事項

2. 会長報告

会長報告の受理

3. 業務事項

3.1 役員・理事の選出：

3.1.1 W I 理事の選出

・ラルフ・ジョーンズ 3 年任期の 2 期目への再選立候補

・リチャード・セバスチャン 3 年任期の 3 期目への再選立候補

3.1.2 W I 副会長の選出

3.2 財務報告

2014 年 12 月 31 日終了の 2014 年度理事報告・財務報告

3.3 W I 地域ネットワークからの報告

W I 地域ネットワークからの口頭報告

3.4 2015 年フォトコンペ：

2015 年フォトコンペの結果発表

4. 次回年次総会期日・開催地

W I 会議と同時開催の次回年次総会の確認。2016 年 9 月ニュージーランド、オークランド。

（日時は後日連絡）

ワーカビリティ・インターナショナル

## 年次総会議事録

2014 年 10 月 23 日開催

パラセテ・ドゥケ・デ・パストラナ、スペイン、マドリード

### 1. イントロダクション

#### 1.1 会長挨拶

会長年次総会参加者への挨拶と会議開催の宣言 12 時 5 分

#### 1.2 出欠、定足数確認

会長が下記を確認：

- ・全会員が出席登録を完了
- ・定数の出席

Southland Enterproses の Ian Bekker より欠席の謝罪

出席者と委任状のリストはAに記載

#### 1.3 前回会議の議事録

Jason McKey が 2013 年 10 月 8 日（火）オーストラリア、ゴールドコースト、ジュピターズ・ゴールドコーストにて開催されたW I 年次総会議事録を提案し、Jerry Davis が支持。会議記録が事実で正確であることが承認された。可決。

#### 1.4 協議事項

議案以外の前回会議議事録からの提案はなし

### 2. 会長報告

会長報告。要約はBに記載。

会長が提出し、Bob Chamberlin によって支持された報告が受理された。可決。

会長感謝：

- ・W I 事務局長 Bob Blue の辞任
- ・Grupo Fundosa と Grupo Fundosa のスタッフによるもてなし

### 3. 業務事項

#### 3.1 役員選出

##### 3.1.1 事務局長と役員の選出

Rick Sebastian によって Jerry Davis をW I 理事として選出することが提案され、Ralph Jones によって支持された。可決。

### 3.1.2 事務局長の任命

Robert Blue が事務局長の任期満了により、理事会は Katherine McLellan を 2014 年 7 月 1 日付で事務局長に任命した。

### 3.2 財務報告

財務・監査・リスクマネジメント委員長の Ralph Jones より 2013 年の理事報告と財務報告の提出。

Ralph Jones より NDS に対する協力への感謝が記録された。

フロアからの質問はなし。

Ralph Jones により提案され、Jason McKey により指示された 2013 年 12 月 31 日終了の期間の理事報告と財務報告を受理。可決。

### 3.3 W I 地域ネットワークからの報告

ワーカビリティ・アジア：上野博による報告：

ワーカビリティ・アジアは近年とても積極的に活動している。残念ながら主催団体の理由により会議をキャンセルせざるをえなかった。2015 年は W I 会員の皆さまがタイに来るのをお待ちしております。

ワーカビリティ・ヨーロッパ：Marjatta Varanka による報告。

ワーカビリティ・ヨーロッパは年次総会で決定した整理の開始を決定した。また、Marjatta Varanka はワーカビリティ・ヨーロッパから辞任した。

W I 理事、特にワーカビリティ・ヨーロッパのサポートに感謝を表した。

### 3.4 2014 フォトコンペ

Katherine McLellan の報告：

- ・ 2014 年のコンペに 7 団体から合計 30 のエントリーがあった。
- ・ 独立したプロの写真家 Daryl Charles により審査された。

Daryl Charles はエントリー一覧を見直し、受賞者を発表した。

- ・ 3 位－Southland Enterprises ニュージーランド
- ・ 2 位－NRCD ネパール
- ・ 1 位－Grupo Fundosa スペイン

Katherine McLellan は Daryl Charles に審査の感謝を述べた。

#### 4. 次回総会期日・開催地

会長がW I 会議 2015 と同時開催の次回年次総会を 2015 年 6 月 22 日の週にアメリカ、サンディエゴにて開催することを確認。（日にち/時間/会場未定）

その他特に何もなく、会長は 12 時 30 分に閉会を宣言。

添付資料：A 出席、委任リスト

B 会長報告

W I 年次総会議事録 2014 添付資料A

出席&委任リスト

出席

| 団体名                                  | 氏名                     | 備考  |
|--------------------------------------|------------------------|-----|
| ASVL-Arbeidssamvirkens Landsforeng   | Anne-Lise Bakken       |     |
| Eden Social Welfare Foundation       | Eileen Yeh-Kin Lu      |     |
| Goodwill Industries International    | Jim Gibbons            |     |
| Goodwill Industries of Central Texas | Jerry Davis            | 理事  |
| Grupo Fundosa                        | Rafael Gonzales Millan |     |
| Hlutverk                             | Kristjan Valdimarsson  |     |
| Human Technologies Corp.             | Rick Sebastian         | 理事  |
| IHC New Zealand                      | Ralph Jones            | 理事  |
| 全国社会就労センター協議会                        | 鈴木 清覺                  |     |
| Job Placement Limited                | Jason McKey            | 理事  |
| きょうされん                               | 藤井 克徳                  |     |
| きょうされん                               | 斎藤 なを子                 | 理事  |
| National Disability Services         | Patrick Maher          | 会長  |
| NRCD Nepal                           | Ram Prasad Dhungana    |     |
| Outlook                              | Tony Fitzgerald        |     |
| Samhall                              | Albin Falkmer          |     |
| SourceAmerica                        | E. Robert Chamberlin   | 副会長 |
| VATES-saatio                         | Marjatta Varanka       |     |
| ワーカビリティ・アジア                          | 上野 博                   |     |
| ワーカビリティ・ヨーロッパ                        | Marjatta Varanka       |     |

委任

| 団体                                         | 委任 | 備考 |
|--------------------------------------------|----|----|
| Achieve Australia                          | 会長 |    |
| Bedford Group                              | 会長 |    |
| Gulf Coast Enterprises                     | 会長 |    |
| House With No Steps                        | 会長 |    |
| Job Options Inc                            | 会長 |    |
| Lorna Hodgkinson Sunshine Home             | 会長 |    |
| NADRASCA                                   | 会長 |    |
| New Life Psychiatric Rehabilitation Assoc. | 会長 |    |
| Oak Tasmania                               | 会長 |    |
| Southland Enterprises                      | 会長 |    |

## 会長報告

会長報告では下記のポイントが話された。

- ・ 前回の年次総会以降、退会はなし。
- ・ 前回の年次総会以降、理事会は 7 回。－電話会議 5 回、東京で 1 回、マドリードで 1 回。
- ・ 前回の年次総会以降、会長は全ての地域を少なくとも一度は訪問。
- ・ W I 地域と会員に関する重要な出来事：
  - ・ 新会員モデルは作動し、ソフトウェアの問題により口座が遅れていたが、現在は解決し、将来は完全に連携される。
  - ・ 残念ながらスリランカのワーカビリティ・アジア会議は急遽主催者によりキャンセルされた。
  - ・ ワーカビリティ・ヨーロッパは、WE の清算に同意し、2015 年に新組織を開始する。
  - ・ オセアニアとアメリカスは引き続き新会員モデルを採用する。
- ・ マイクロソフトや KIVA との連携における発展的なモデルを見出すことができなかった。
- ・ 財務状況－とても良好
- ・ Rehab Group の退会
- ・ 2015 年会議（アメリカ、サンディエゴ）、2016 年会議（ニュージーランド、オークランド）、2017 年（香港）

2015 年 5 月 26 日

ワーカビリティ・インターナショナル  
16 Old Bailey  
London EC4M 7EG  
ENGLAND

拝啓

ワーカビリティ・インターナショナル（会社）

会社定款第 27 条、28 条、29 条により、私はここに会社の理事を務める意思があること、またもし理事として指名された場合、会社の利益のために行動することを確認します。

敬具

Ralph Jones  
最高責任者  
I D E A

ワーカビリティ・インターナショナル  
(保証有限責任会社)

2014 年 12 月 31 日をもって終了する年の理事報告・財務諸表(案)

会社情報

---

2014 年 12 月 31 日時点の理事 Robert E Chamberlin

Patrick Maher

Richard Sebastian

Gerald Davis

Ralph Jones

Jason McKey

Deborah Wan

Roy O'Shaughnessy

Naoko Saito

事務局

Katherine McLellan/Withers LLP

会社番号

04230009

登記住所

16 Old Bailey

London

EC4M 7EG

取引銀行

HSBC Bank plc

117 Great Portland Street

London

W1W 6QJ

National Australia Bank

255 George Street

Sydney

2000, Australia

弁護士

Withers LLP

16 Old Bailey

London

EC4M 7EG

## 目次

---

|        | ページ |
|--------|-----|
| 理事報告   | 1-2 |
| 損益計算書  | 3   |
| 貸借対照表  | 4   |
| 財務諸表注記 | 5-7 |

## 理事報告

2014 年 12 月 31 日終了年度

---

理事は 2014 年 12 月 31 日をもって終了する年の報告書と財務諸表を発表

## 主な活動

会社の主な活動は障害のある人や特別なニーズのある人の雇用促進であり、その主な収入源は会員組織の会費である。

## 理事

以下の理事は 2014 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日までの期間在職した。

- Robert E Chamberlin
- Patrick Maher
- Richard Sebastian
- Gerald Davis
- Jason McKey
- Roy O'Shaughnessy
- Naoko Saito
- Ralph Jones
- Deborah Wan

## 事務局

Robert Blue (2014 年 6 月 30 日 退任)

Katherine McLellan (2014 年 6 月 30 日 選任)

## 理事責任の発言

理事は関係法令に従って理事報告と財務諸表を作成する責任がある。

会社法により、理事は毎年財務諸表を作成する必要がある。イギリスの一般に認められた会計実務(イギリスの会計基準と関連法)に従って法の下、理事は財務諸表を作成する人を選出する。この期間の会社運営と会社の損益状態が真実かつ公正な意見を述べていることを確信しない限り、会社法では理事は財務諸表を承認してはならない。これら財務諸表の作成に関し、理事は以下のことを求められる:

- 適した会計方針を選択し、一貫して適用する。
- 合理的で堅実な判断と会計上の評価を下す。
- 会社が事業を継続すると仮定して不適當でない限り、継続関心事項をベースに財務諸表を作成する。

理事は会社の取引を提示し説明するための十分な適切な会計記録を残し、いつでも会社の財政状態が十分に正確なことを明らかにし、2006 年会社法により財政状態に従っていることを保障できるようにする責任を負う。彼らはまた、会社資産を保護し、今後不正やその他変則的なことを予防、発見するための適正措置を取る責任がある。

この報告は 2006 年会社法第 15 編の中にある小規模会社に関連する特別規程に従って作成された。

損益計算書

2014 年 12 月 31 日をもって終了する年

---

|            |    | 2014           | 2013         |
|------------|----|----------------|--------------|
|            | 注記 | £              | £            |
| 売上高        | 2  | 34,980         | 40,395       |
| 管理費        | 3  | (38,318)       | (40,815)     |
| 税引き前経常活動損益 |    | <u>(3,338)</u> | <u>(420)</u> |
| 経常活動利益への課税 |    | —              | —            |
| 年間損益       | 9  | <u>(3,338)</u> | <u>(420)</u> |

注記はこれら財務諸表の5ページから7ページ

貸借対照表

2014 年 12 月 31 日をもって終了する年

|             | 注記 | 2014<br>£     | 2013<br>£     |
|-------------|----|---------------|---------------|
| <b>固定資産</b> |    |               |               |
| 無形資産        | 5  | 4,856         | 5,676         |
| <b>流動資産</b> |    |               |               |
| 売掛金及び未収金    | 6  | 212           | —             |
| 前払い金        |    |               | 724           |
| 手元現金および銀行預金 |    | 86,035        | 79,981        |
|             |    | 86,247        | 80,705        |
| <b>流動負債</b> | 7  | 5,085         | 21,526        |
| 正味流動資産      |    | 81,161        | 59,179        |
| <b>正味財産</b> |    | <b>86,017</b> | <b>64,855</b> |
| <b>純資産</b>  |    |               |               |
| 会費準備金       | 9  | 78,125        | 53,625        |
| 損益勘定        | 9  | 7,892         | 11,230        |
| <b>純資産</b>  |    | <b>86,017</b> | <b>64,855</b> |

2014 年 12 月 31 日をもって終了する年について、会社は 2006 年会社法第 477 条の小規模会社についての会計監査の適用除外を受けた。

会員は第 476 条に従い、当該年度の会計監査を受けることを会社に要求しない。理事は会計記録と収支計算書の作成について法令の要求に応じる責任に同意する。

財務諸表は小規模会社財務報告基準(2008 年4月施行)を踏まえた 2006 年会社法第 15 編の小規模会社に関する特別条項に従って作成されている。

注記はこれら財務諸表の5ページから7ページ

## 1 会計方針

### 1.1 財務諸表作成基準

財務諸表は(特に明記のない限り)一貫して適用されている英国会計基準(英国の一般に認められている会計実務)に従って取得原価主義の下作成されている。

財務諸表は世界的な慈善活動と会社がイギリスで登記されているためイギリスポンドで作成される。

### 1.2 売上高

1. 全収入は損益計算書に盛り込まれている。会社はほぼ正確に収入と総額を数値化する権利を法的に与えられている。

- ・会費は受領によって説明されている。
- ・受取利息は受領によって説明されている。

### 1.3 管理費

管理費は発生主義に基づいて説明されている。

### 1.4 特許

特許は償却累計額を差し引いて評価されている。償却は見積耐用年数にわたって年に分割で費用を償却するよう計算される。

### 1.5 外貨換算

外貨建ての金融資産や負債は貸借対照表日の為替レートでイギリスポンドに換算される。

外貨取引は取引日のレートで記録される。全ての差額は損益計算書に入れられる。

## 2. 売上高

|        | 2014          | 2013          |
|--------|---------------|---------------|
|        | £             | £             |
| 会費     | 12,250        | 16,000        |
| 経営構造支援 | 7,730         | 6,395         |
| 準備金の解除 | 15,000        | 18,000        |
| 銀行利子   | —             | —             |
|        | <u>34,980</u> | <u>40,395</u> |

収支計算書注記

2014 年 12 月 31 日をもって終了する年

3 管理費

|              | 2014          | 2013          |
|--------------|---------------|---------------|
|              | £             | £             |
| 無形固定資産償却費    | 821           | 821           |
| 監査報酬         | —             | —             |
| 銀行手数料        | 612           | 332           |
| 理事会          | 383           | 588           |
| 為替レート(利益)/損失 | 2,891         | 1,674         |
| 事務局費用        | 24,943        | 26,235        |
| 弁護士費用        | 1,154         | 3,900         |
| 消耗品費         | 3,907         | 2,162         |
| 旅費           | 3,608         | 5,103         |
|              | <u>38,318</u> | <u>40,815</u> |

4 課税

ワーカビリティ・インターナショナルは会費から収入を得ているため、その活動から生じる黒字は法人税の課税対象とならない。法人税はその他に上がってくる収入に対して課税される。

法人税はこの期間中非課税であった。

5 無形固定資産

|           | 2014         | 2013         |
|-----------|--------------|--------------|
|           | £            | £            |
| 特許/商標(原価) | 8,138        | 8,138        |
| 減価償却累計    | (3,283)      | (2,462)      |
|           | <u>4,856</u> | <u>5,676</u> |

6 売掛金及び未収金

|             | 2014       | 2013     |
|-------------|------------|----------|
|             | £          | £        |
| その他売掛金及び未収金 | <u>212</u> | <u>—</u> |

収支計算書注記

2014 年 12 月 31 日をもって終了する年

7 流動負債

|              | 2014  | 2013   |
|--------------|-------|--------|
|              | £     | £      |
| その他債務及び未払い費用 | 5,085 | 21,526 |

8 有限責任

会社は会員による保証が制限されている。保証は会員あたり1米ドルに制限され、保証額の合計は 48 米ドルである(2013:64 米ドル)。

9 準備金の増減書

|       | 繰越            | 受領            | 支出              | 利益/(損失)        | 次期繰越          |
|-------|---------------|---------------|-----------------|----------------|---------------|
|       | £             | £             | £               | £              | £             |
| 会費準備金 | 53,625        | 40,250        | (15,750)        | —              | 78,125        |
| 損益計算  | 11,230        | —             | —               | (3,338)        | 7,892         |
|       | <u>64,855</u> | <u>40,250</u> | <u>(15,750)</u> | <u>(3,338)</u> | <u>86,017</u> |

会費準備金

会費準備金は特別貢献会員からの基金を表す。これらの準備金は WI の内部経営の支援、戦略的開発基金、そして途上国の潜在会員の支援を通してWIの目的を促進させるために使用される。

# WI 会議 2015 in サンディエゴ 参加者名簿

| No. | 氏 名      | 所属・役職                                       | 都府県 |
|-----|----------|---------------------------------------------|-----|
| 1   | 鈴木 清覺    | (福) ゆたか福祉会・理事長<br>全国社会就労センター協議会・顧問、WIJ 理事   | 愛知県 |
| 2   | 内藤 晃     | 就職するなら明朗塾・CEO<br>全国社会就労センター協議会・常任協議員、WIJ 理事 | 千葉県 |
| 3   | 鈴木 宏     | (福) 山形県コロニー協会・地域就労支援部 部長                    | 山形県 |
| 4   | 柳澤 孝典    | (福) ながのコロニー                                 | 長野県 |
| 5   | シャープ 美智子 | 日英通訳                                        |     |

※順不同、敬称略

## グッドウィル・インダストリーズ・インターナショナル紹介

(グッドウィル・インダストリー・インターナショナルウェブサイトより抜粋して編集)

グッドウィル・インダストリーズ・インターナショナルは、1902 年にメソジスト派のエドガー・J・ヘルムズ牧師によって、アメリカのマサチューセッツ州ボストン市で設立されました。ヘルムズ神父は市の裕福なエリアで家庭用品や衣類を集め、貧しい人々をトレーニングして雇い、それらの中古品を修理しました。その用品は販売されたり、修理した人々に与えられたりしました。このシステムはうまく機能し、ここから「(物をもらうために) 手を出さず、(働くために) 手を上げる」というグッドウィルの哲学が生まれました。

グッドウィルはアメリカとカナダに 165 の独立したコミュニティベースのグッドウィルがあり、仕事を求めている人々、資格や学位を求めている人々、財政を強化したい人々にトレーニングやサービスを提供しています。

それぞれの地域のグッドウィルは正式に承認され、入会し、グッドウィル・インダストリーズ・インターナショナル (GII) によって制定された基準を満たさなければなりません。

GII の会員サービスセンターはメリーランド州ロックヴィルにあり、地域のグッドウィルにプログラムやサービスを強化し、成長するための沢山の支援をしています。

グッドウィル・インダストリーズ・インターナショナルの使命

グッドウィルはコミュニティを強化し、機会の障壁を取り除き、困っている人々が学習や仕事の力を通して最大の可能性を発揮することを支援することで個人や家族の尊厳と生活の質を高めることに取り組みます。



ワーカビリティ・アジア (WAsia) 会議 2015  
in パタヤ  
報 告 書



2015 年7月8日(水)～10 日(金)  
ヒルトン パタヤ  
(タイ、パタヤ)

# スケジュール

| 日にち      | 時 間                                       | 内 容                                                                                    |
|----------|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 7月7日（火）  | 08：30<br>10：50<br>15：25<br>16：00<br>18：00 | 羽田空港集合<br>NH847 便（全日空）にてバンコクへ<br>バンコク国際空港着<br>パタヤ市内へ移動<br>ホテル着<br><br>(アマリ・オーシャン・パタヤ泊) |
| 7月8日（水）  | 08：00<br>09：00<br>18：00<br>20：00          | 会議登録<br>会議1日目開始<br>会議1日目終了・食事会<br>食事会終了<br><br>(アマリ・オーシャン・パタヤ泊)                        |
| 7月9日（木）  | 08：00<br>09：00<br>17：15<br>18：00<br>20：00 | 会議登録<br>会議2日目開始<br>会議2日目終了<br>パタヤ観光（オプション）<br>パタヤ観光終了<br><br>(アマリ・オーシャン・パタヤ泊)          |
| 7月10日（金） | 08：30<br>14：00                            | スタディ・ツアー開始<br>スタディ・ツアー終了<br><br>(アマリ・オーシャン・パタヤ泊)                                       |
| 7月11日（土） | 22：10                                     | NH850 便（全日空）にて羽田空港へ                                                                    |
| 7月12日（日） | 06：20                                     | 羽田空港着<br>解散                                                                            |

## 会議プログラム（概要）

< 1 日目：2015 年 7 月 8 日（水） >

(09 : 00～09 : 30)

来賓講演：

国連アジア太平洋社会経済委員会（UNESCAP）社会開発局社会問題担当官  
秋山 愛子 氏

(09 : 30～09 : 45)

特別講演：

ワーカビリティ・インターナショナル会長 /オーストラリア障害サービス C00  
Mr. Patrick Maher

… ワーカビリティ・インターナショナルは障害のある人や社会の主流から取り残された  
いかなる人の働く権利を擁護している。ワーカビリティ・インターナショナルの会員組  
織は障害のある人は彼らの生活のいかなる場面でも平等な機会と差別されない法律上  
の権利があると信じている。雇用の実際の機会を提供することによってのみ、私たちは  
このような権利に重要性和意義をもたらす。ワーカビリティ・インターナショナルでは、  
様々な経済界と社会の要求の間で専門知識と情報を共有することを促進している。

(09 : 45～10 : 00)

開会報告：

タイ社会開発・人間の安全保障省障害者エンパワメント局（NEP）局長  
Mrs. Napa Setthakorn

… 障害者エンパワメント局（NEP）は「障害者エンパワメント法 B.E. 2550(A.D. 2007)」  
の 12 項に従って 2007 年 9 月 28 日に設立されたもので、国内と国家レベルで政府と非  
政府団体が交流し協力する国の中心である。障害のある人の自立した生活と他の人と同  
様の権利を謳歌することを保障するという重要な目的で、NEP は次の戦略を採用してい  
る：国家障害者政策と計画の活用と統合；障害者団体（DPO）とネットワークのエンパ  
ワメント；障害のある人のためのインクルーシブ、バリアフリーで公平な社会の促進。

(10:00～10:30)

開会挨拶：

ワーカビリティ・アジア代表 藤井 克徳 氏

… ワーカビリティ・アジア（WAsia）はアジアにおける障害のある人に就労を支援する  
団体のネットワークである。2015 年 7 月 1 日現在、バングラデシュ、カンボジア、イ  
ンド、香港/中国、日本、マカオ/中国、マレーシア、ネパール、パキスタン、フィリピン

ン、スリランカ、台湾、そしてタイの 13 か国・地域の 39 団体が会員となっている。WAsia はワーカビリティ・インターナショナルの地域ネットワークの一つである。

タイ証券取引所代表 Dr. Sathit Limpongpan

… タイの証券取引所は会員に利益配分をせずに活動に関連したサービスを提供するための一つの市場、または上場証券取引の中心、そして財政計画の促進者である。一般市民に様々な地域産業の株主になることを奨励している。主な事業は証券上場、上場企業の監督、情報開示、商取引、市場監視、会員の管理、情報普及、投資家の教育などである。

タイ社会開発・人間の安全保障省事務次官 Mr. Vichien Chavalit

… 社会開発・人間の安全保障省（MSDHS）は UNPAF2012-1 の下、ILO と UNJT-SP の共同議長を務め、第 11 次国家経済社会開発計画（NESDP）2012-16 との社会的保護分野の政府政策の実行を支援している。MSDHS は政府機関や関係のある民間団体と共にトレーニング、社会的保護の費用見積もりのワークショップ、ブレインストーミングによる社会的保護フロアのコンセプトに従ってタイの社会的保護報告準備で ILO と連携している。

※代表者写真撮影

(10:30～11:00)

基調講演：私たちが望むインクルーシブな未来をつくろう

オーストラリア南オーストラリア州議会議員 Ms. Kelly Vincent

(11:00～11:15)

「ワーカビリティ・タイ（WTH）」始動

ワーカビリティ・タイ代表 Mr. Suporntum Mongkorsawadi

(11:15～12:00)

写真撮影／展示見学ツアー

(12:00～13:00)

昼食

(13:00～14:30)

メイン会議：－ASEAN フォーラム－

「全ての人のための効果的かつ全体的な労働統合スキームをいかに作るか」

タイ国政府商務省輸出振興局（DEP）戦略計画部長 Ms. Vigta Rachatanantikul

アジア太平洋障害者センター（APCD）所長 二宮 アキイエ 氏

レデンプトリスト障害者財団会長 Fr. Dr. Michael Pichan Jaiseri, C.Ss.R

ASEAN CSR ネットワーク共同創設者（Unilab 財団）

Ms. Rhodora Palomar-Fresnedi  
タハナン・ワラン・ハグダナン COO Ms. Jocelyn Garcia (フィリピン)  
司会：TV ジャーナリスト(Nation TV) Ms. Sathapat Phaethong

(14:30～14:45)

特別報告：ネパール地震災害

ネパール障害者リハビリテーションセンター (NRCD ネパール) 会長  
Mr. Ram Prasad Dhunghana

(14:45～15:00)

休憩

(15:00～16:00)

[分科会] アブストラクト応募者の発表セッション：

司会&共同司会 Ms. Vijita Rachatanantikul、Ms. Sakulthip Keeratiphantawong

(15:00～15:15)

インド、タミルナードゥ州における障害のある人の能力強化プログラム

SINAM Mr. Rama Perumal (インド)

(15:15～15:30)

障害のある人の事業の立ち上げとスキルの需要調査

SuanSusitRajabhat 大学 助教 Dr. Kanvipa Hong-ngam (タイ)

(15:30～15:45)

障害者エンパワメントのための社会的企業の発展に関するベストプラクティス研究

MSDHS Mr. Pantayot Janphong (タイ)

(15:45～16:00)

ワーカビリティ・アジア 人材交流プログラムを実施して

きょうされん 副理事長 斎藤 なを子 氏 (日本)

(16:00～17:00)

[分科会] フォーラム&ネットワークキング：

(18:00～21:30)

ガラディナー：

(19:00～19:30) 着席

(19:30～19:45) オープニング・パフォーマンス

- (19 : 45～19 : 55) 歓迎挨拶 パタヤ市長 Mr. Itthiphol Kunplome
- (19 : 55～20 : 10) 開会報告  
タイ労働省総括監査官 Mrs. Kanchana Tawasilchaikul  
社会開発・人間の安全保障省代表、  
障害者エンパワメント局次長 Mrs. Praiwan Ponlawan
- (20 : 10～20 : 30) 開会挨拶 Ratchasuda 財団理事 Prof. Dr. Poonpit Amatyakul
- (20 : 30～20 : 40) ビデオ発表  
「マハ・チャクリ・シリントン王女生誕 60 周年の慶事を祝う」
- (20 : 40～20 : 50) 基調講演「ウエルカム障害者・タイ」  
タイ労働省事務次官 Mr. Nakorn Silpaarcha
- (20 : 50～21 : 00) 「ウエルカム障害者マーク (Well-D Mark)」始動  
WTH&WAsia 代表協力によるウエルカム障害者宣言
- \*\*夕食\*\***
- (21 : 00～22 : 00) マハ・チャクリ・シリントン王女を称える  
Well-D パフォーマンス

< 2 日目 : 2015 年 7 月 9 日 (木) >

(09:00～10:30)

パネルディスカッション # 1 : 「障害者の競争的雇用」

FWD 生命保険株式会社 CEO Mr. Michael Plaxton

… FWD は障害のある人を雇用している。なぜなら彼らは私たちの成功にとっても貢献しているからだ。私たちは慈善事業を行わず、事業を成長させる機会を提供する。彼らは私たちの事業に彼らの経験から重要な本質をもたらす。-本質とは企業全体を支援し、現状のビジネス世界の課題に対応することである。

Ek-Chai Distribution System(Tesco Lotus)会社広報

&サスティナビリティ部長 Mr. Charkrit Direkwattanachai

… Ek-Chai Distribution System Co., Ltd(Tesco Lotus)はタイ全体で 1,700 以上の店舗ネットワークを通じて毎週 12,000,000 を超える顧客を扱っている。顧客の様々な要求に応えるための 5 つの Tesco Lotus 形態がある;エクスプレス、ハイパーマーケット、デパートメントストア、Talad and Express。さらに Tesco Lotus では最近オンラインショッピングサービスを開始し、顧客が 20,000 以上の食料、生鮮食品、食品以外のものをオンラインで注文し、自宅配送されるようにした。Tesco Lotus では顧客、同僚、地域に大きな利益をもたらすために私たちの基準と機能を使っている。2013 年 Teco Lotus のスタッフはそれぞれの地域で 2,700,000 以上の時間、ボランティア活動をした。会社はまた 6,000,000 人以上が積極的になり、健康でいるための支援をした。タイ財団の Tesco は 2003 年に設立され、500,000,000 バーツ以上を価値のある慈善団体や社会

プロジェクトに寄附している。私たちはまた 50,000 の奨学金を貧しい学生に支給している。

BizLink センターシンガポール CEO Mr. Alvin Lim

… BizLink センターは恵まれない人々、特に障害のある人々に総合的な雇用サービスを提供している非営利団体である。特に障害のある人々のため、BizLink はワンストップ雇用とジョブアセスメントサービスを行っている。BizLink は障害のある人と潜在的な雇用主や企業を結ぶ橋の様な役割をしている。地域開発省（現 MCYS）の下でプロジェクトがスタートした 1985 年から障害のある人のコミュニティのために活動している。誇りを持ってミッションを展開し続けている。

香港・中国ガス会社（タウンガス）広報部長 Ms. Wong Sau Ying

… 香港・中国ガス会社（タウンガス）は香港で最初の公益企業であった。現在、私たちは香港で最大のエネルギー供給者の一つとなり、国際レベルで企業経営し、最新のビジネスを実践している。この一年間でタウンガスは香港と共に成長し、街灯に燃料を供給する単なるガス会社からグレーターチャイナのエネルギー産業で現在のトップの地位に発展してきた。

司会：マヒドン大学ラチャスダ校校長 Assoc.Prof.Tavee Cheausuwantavee PhD

(10:30～10:45)

休憩

(10:45～12:00)

パネルディスカッション # 2 :

「障害者のエンパワメントとビジネス機会の創出に向けた社会的起業」

香港障害者団体協議会副代表 Ms. Deborah Wan

… Ms. Deborah Wan は 1981 年から 2009 年までニューライフ精神リハビリテーション協会（NLPRA）の CEO であった。彼女はたった 40 人のスタッフと年間予算約 1,000,000 香港ドルの小さな団体から 2009 年には 700 人を超えるスタッフと 200,000,000 香港ドルを超える予算になるまで、28 年間におよび NLPRA を指導し発展させた。彼女は NLPRA を香港で質の高い総合的な地域の精神リハビリテーションサービスを提供する主な福祉団体へと作り上げた。彼女はサービス利用者の利益のため沢山の革新的なプロジェクトを計画した。彼女の素晴らしい実績は香港発のロングステイケアホームの設立、多機能サービスセンター専用のニューライフビル、そしてニューライフのオーガニック農園の展開などである。

レデンプトリスト障害者職業学校校長 Mr. Udomchok Churut

… 生徒は他の人と同じ給料と同じ権利を受ける適職に就くための技術と知識を備えて卒業する。障害のある人の人生は簡単なものではない。多くの家族は障害のある子供を

学校に行かせるという意味を見出さないため、生まれつき障害のある多くの人は教育を受けない。彼らが成長した時には家族の負担になっている。唯一彼らが見つめることのできる仕事は誰もしない仕事だけだ。彼らにはわずかな給料が支払われ、権利があまりない。大都市では道でお金を無心している障害のある人がよく見られる。彼らは犯罪組織によって物乞いを強要され、犯罪組織のリーダーが満足する十分なお金を持って帰らなければ罰せられる。

マイナーグループ CSR 事業部門副代表&CSR クラブ副会長 Mr. Sukij U-Tintu  
… Sukij U-Tintu はマイナーインターナショナル PCL の CSR&サステナビリティ副代表である。マイナーは品質の高いホスピタリティサービス、レストラン構想、ライフスタイル製品を届けるアジア最大企業の一つである。マイナーのサステナブル・フットプリントはアフリカ、中東、インド洋を含むアジアだけでなく、オーストラリア、ニュージーランドにおいて 119 を超えるホテル、リゾート、サービス付特別室、そして 1,700 のレストランにまで成長した。

Shwe Minn Tha Enterprises 社長、Shwe Minn Tha 財団会長 Mr. Myat Thu Win  
… Shwe Minn Tha 財団（ミャンマー）は障害のある人で構成され、特に障害のある人に焦点を当てている。SMTF の中央または執行委員は障害のある人や障害者を親に持つ人々である。

司会：NISE Ms. Sakulthip Kiratiphantawong

(12:00～13:00)

昼食

(13:00～14:45)

パネルディスカッション # 3 :

「通信を使ったエンパワメント：障害者のための ICT、支援技術、革新の役割」

国際リハビリテーションエンジニアリング・支援技術会議創設者 Dr. Ang Wei Tech  
… Wei Tech Ang 教授は現在シンガポールの Nanyang 理工大学機械&航空宇宙工学学科の準教授（リサーチ）である。彼はシンガポールリハビリテーションリサーチ機関の理事でもある。2007 年に国際リハビリテーションエンジニアリング・支援技術会議（i-CREATE）を共同で創設し、これはアジアにおけるこの種としては最大の会議となった。

国家放送通信委員会事務局次長 Mr. Korkij Danchaivichit  
… Mr. Korkij Danchaivichit は NBTC の事務局次長であり、電気通信部門で事務局長のサポートをしている。彼の職務と責任は電気通信サービスの基本計画を立て国内の全ての

電気通信サービスを管理することである。彼は競争と公平に基づいて国内の電気通信サービスの透明性を生み出し、促進することに重点的に取り組んでいる。彼は利用者に使われていないプリペイドSIMカード登録（2クリック）を思い出させ、現在は国家的な議題としてアナウンスされているキャンペーンのような多くの主要なキャンペーンを実施した。

国立科学技術開発庁障害者&高齢者技術研究所長 Ms. Wantanee Phantachat  
… Ms. Wantanee Phantachat はタイ科学技術省国立科学技術開発庁タイ国立電子コンピューター技術センターに基づく障害者&高齢者技術研究所の所長である。彼女はタイにおける ICT の開発と電気通信アクセシビリティ計画の先駆者である。タイ電気通信リレーサービス（TTRS）は彼女が 2012 年に開始したセンターの一つであり、以来 TTRS のコンサルタントをしている。彼女はまた特別教育、障害のある人や高齢者の健康についての政策立案者でもある。

True Corporation Plc, イノベーションセンター次長 Dr. Teerapon Tanomsakyu  
司会：TV ジャーナリスト (Nation TV) Ms. Sathapat Phaethong

(14:45～15:45)

閉会式：

閉会挨拶：ワーカビリティ・アジア事務局長 上野 博 氏

感謝の言葉：労働省雇用局次長

パタヤ声明/宣言 “すべての人にワーカビリティの創出を”：

労働省代表

商務省輸出振興局代表

チョンブリ州政府代表

ワーカビリティ・アジア代表

ワーカビリティ・タイ代表

ASEAN 代表

障害者団体（RFPD 代表）

経済界代表

＊＊終了後集合写真＊＊

(15:45～17:00)

WAsia 年次総会 ＊WAsia 会員のみ

(16:00～20:00)

パタヤ観光プログラム（オプション）

A（16：00～19：00）：Alangkarn

B（17：00～20：00）：Art in Paradise

< 3 日目 : 2015 年 7 月 10 日 (金) >

(09:00～10:00)

移動

(10:00～12:00)

スタディ・ツアー

(12:00～13:00)

解散



# 会議報告

1 日目：2015 年 7 月 8 日（水）

1 日目のメイン会議は、「全ての人のための効果的かつ全体的な労働統合スキームをいかに作るか」というテーマで 5 人のカントリーレポートが行われた。コーディネーターは、タイ公共放送サービス（ThaiPBS）TV ジャーナリスト Ms. Nattha Komolvadhin。

## 1. 障害者エンパワメント局（NEP）局長 Mrs. Napa Setthakorn（タイ）

タイでは 2007 年に障害者エンパワメント法が公布された。障害者の権利や利益の増進、差別の解消などを目的として作られていて、「障害者の生活の質の向上と発展のための基金」に関する規定があり、基金は、障害者の生活の質を保護・発展させるために使用される。また、障害者雇用に関する規定もあり、障害者が雇用できない企業は基金に拠出金を支払うことや障害者雇用に対する減免処置などが規定されている。現在、障害者がレストランやハウスキーパーとして企業に雇用されるケースが増えてきている。

## 2. APCD 所長 二宮 アキイエ 氏

現在、社会には差別をしない姿勢や社会的インパクトを伴う投資が求められている。世界的に高齢化社会が進む中で、障害者にも目を向けさせる活動をしていきたい。ベトナムやラオスといった地域での農村開発を進め、障害者がそこで活躍できる取り組みを計画している。

## 3. レデンプトリスト障害者財団 代表 Fr. Dr. Michael Pichan Jaiseri, C.Ss.R

財団はタイのパタヤにレイ神父によって 31 年前に設立された。当時パタヤには障害者の行く学校がなかった。レイ神父は障害者や貧しい家庭の子供を積極的に受け入れる職業訓練校を作り、卒業生の就職率は 100%。卒業生は IT 関連、コールセンター等、様々な分野で活躍している。

## 4. ASEAN CSR ネットワーク共同創設者（Unilab 財団）Ms. Rhodora Palomar-Fresnedi（シンガポール）

障害者の雇用について考える時に重要なことは、「何ができないかではなく、何ができるのか」といった視点。障害によってできないこともあるかも知れないが、特別な能力を持った人材として社会でもっと活躍する場が与えられるべき。

## 5. タハナン・ワラン・ハグダナン COO Ms. Joycelyn Garcia（フィリピン）

フィリピンではアキノ政権以来、障害者が社会のトップという考え方が広まった。国をあげて障害者雇用に積極的に取り組んでいる。製薬会社のパッケージングやカスタマイズされた車椅子製作等の分野で、チャリティーではなくビジネスとして障害者が活躍。

（社会就労センターきたざと 主任生活支援員 渡辺 浩二）

「私たちが動くことで世界は変わる」最年少で南オーストラリア州議会議員となったケリー・ビンセント氏は語った。多くの障害者たちが自立できずにいるのは、社会（雇用側）の理解を得ていないことが原因である。障害者は声を大にして自己をアピールすべきである。それでこそ社会の理解を得ることができ、求める物を得ることができる。自らも車椅子に座るケリー・ビンセント氏は世界を変えるために動き続けている。

（セルプみなみ 副管理者 渡邊 幸子）

タイ王国政府のMSDHS（社会開発・人間安全保障省）とタイ国内の大学が共同して行った、「障害者に求める技能」についての調査研究報告があった。現在、職業訓練所等で得られる技能と企業が求める技能について、大きな乖離がある事について話があった。現在タイでは専門技術の習得を目的とした訓練プログラムが多いものの、企業側としてはbasic skill（基本的な労働習慣）やsocial skill（社会的技能）を強く求めているとの事である。文化や制度が大きく違う日本とタイだが、企業のスタンスは日本と変わらないのだと感じた。今後、タイでも日本と同じく従来のレディネスモデルから援助付き雇用モデルが主流となっていくように感じられた。

（障害者就労・自立支援センターたんぽぽ 職業指導員 永江 賢）



2日目：2015年7月9日（木）

ネパール地震災害の話からスタート。話と共に流れるスライドは、3.11 東日本大震災と重なる。

パネルディスカッションⅡのテーマは、「障害者の競争的雇用」

中国、シンガポール、タイの企業4社の代表がパネラーとして会社での取り組みやポリシーを語っている。

どの企業からも言われることは『パートナーシップ』。1つの企業で完結するのではなく、互いに仕事を分担。時にはビジネスの観点から国外にパートナーを作り仕事を受注する（シンガポールの場合）といった工夫もする。障害者雇用に対して、あくまでもチャリティーではなくビジネスとしての考え方。“いつか障害を得ることもある。なんらかの差別を受けたこともあるだろう。” “一人の人間として社会で働くということは大切。” とパネリストは言っていた。雇用の成功という点では、“CEO も一人の人間でわからないこともある。周りに相談し“声”を聴く。代表が障害者の重要性を理解し、会社全体にその理解を広めていく。” ことがKey Pointになると語っていた。

障害雇用をするうえで、周りの理解が必要ということであるが、それは雇用だけでなく幅広く人間社会を生きていくうえで大切なことであり、日々私たちが感じながら運動や仕事をしていることが基本であることを再確認した。政府が言うからではなく、制度があるからではなく、“必要”という“社会の意識向上”に向けて運動を続けていくことが大切であると感じた。

（社会福祉法人蒲生野会 課長補佐 岡本 千明、生活支援員 笹川 喜代）

総会では、インド、バングラデシュ、ネパール等多くの国から活発な意見が出された。目的を明確にするため5年計画を立て、達成状況を報告しあおう。年次会議では一方的な報告でなく、オープンディスカッション、当事者ワークショップの開催、ニュースレターやフェイスブックを活用し、多くの人を巻きこもうという意見があった。現実にはぶつかりながらも、お互いの国々に学び、これからのビジョンを熱く語る時間となった。

閉会式で藤井代表より、「私たちの目的は、『皆が平等に働けること』」と目的を再確認した。障害者の人権を尊重し、全ての人のワーカビリティを守るため「①より困難な、重度の仲間を念頭におくこと。②もっと私たちの仲間を増やそう。」とも話され、「私たちは変化をもたらすことができる!!」「スーサー!!（タイ語で頑張れ!!）」と笑顔で会議を締めくくった。次回のワーカビリティ・アジア会議も次元を上げ、さらなる期待の込められた会議になりそうだ。

（社会福祉法人 鴻沼福祉会 のぞみホーム 生活支援員 高橋 慈）

スタディ・ツアー、レデンプトリスト障害者財団の施設見学を行った。設立以前、障害者が教育を受けられる機関は無く職に就く機会も得られなかった為、ホームレスになるしかなかった。米国からタイに派遣されたレイモンド・ブレナン神父がこの障害者の貧困問題解決に向けて政府に働きかけ、視覚障害者の為の 9 年制の学校を設立。その後、1984 年にレデンプトリスト障害者財団は障害者の為の職業訓練校を開設した。

レデンプトリスト障害者財団は、ブレナン神父の「教育の機会さえ与えれば何ら変わらない能力を発揮できる」という理念を受け継ぎ、障害のある人が仕事を得られるよう、訓練は「ニーズによって柔軟に対応しなければならない。」という考えの下に行っている。設立当初は 4 人しかいなかったコンピュータ教室の訓練生はコンピュータ産業の大きな発展もあり 15 年で訓練生は大幅に増加した。また、英語能力は重視され、会話等が出来れば大学で学位をとった人と同等の収入を得られる為、職業訓練の一環で英語教育も行っている。多くの企業から、レデンプトリスト障害者財団とその学生能力が高い事は認知されており、彼らは良い給料（およそ 15,000 バーツ／月）で家族を支えることもできている。

職業訓練校では、幼稚園から 9 年間、140 人が寮生活をしながら、仕事ができるようになるまで学校に通っている。盲目、自閉症、脳性まひの子供もいる。

英語の授業見学では 10 名の身体障害者が授業を受けていた。授業は週 6 日 8 時間、1 年間 2 学期制で修了まで 2 年間。教師は外国からのボランティアが行っており、この時はアメリカとフランスからのボランティアが授業を行っていた。任期は一学期分 6 ヶ月で 1 学期間・同教科は同じボランティアが教えている。教科書はその時々生徒が興味を持っているもの・学びたいものによってテキストを選ぶとの事。この時はオックスフォード大学のテキストを使用して授業を行っていた。能力に応じたクラス分けも行っており、入学時のテストで 5 段階のクラスに分けられる。また、学期毎に定期試験・修了試験も行われているとの事。

コンピュータプログラミングの授業見学では就職率は 100%との事。どうやったら 100%の就職率を実現できるかの質問には「そんな事は考えたことがない。普通は職業訓練校を卒業したら就職する。」といったニュアンスの回答であった。

マハタイエレクトロニクスセンターでは機械の修理を行っており、テレビの修理がメインの様子で、印象的だったのは両上肢欠損の方が多くの外国人に作業を見られ恥ずかしそうに両足でハンダごてを器用に扱っている姿が印象的だった。以前の自分では、やってみるという発想が出てこなかったのでは？と思う。

コールセンターでは車椅子利用の女性が働いていた。部屋は 3 部屋あり、それぞれ別の一般企業が入っており、マニュアルによる対応もしくは担当に電話を繋ぐといった内容の仕事で、どのような内容の問い合わせがあったかをホワイトボードに記載してあった。

社会的スキルを教えている教室では、自閉症、知的障害、脳性まひの 3 歳から 13 歳までの子供たちに、音楽セラピー・アートセラピー・基本的な教育をしながら、態度、習慣のトレーニングの提供などしていた。

## 両方で欠損の障害のある卒業生への質問と回答

Q 1 家族、人生について質問。

A 1 幼稚園には障害があったために行けなかった。学校には9歳から行った。学校はいじめられないように配慮してくれた。9歳になるまで他の人たちと違いはなかった。

Q 2 日常生活について質問。

A 2 特に問題はない。歩行、アイロンなどできないことはない。  
腕はないが、障害者に対して期待していいのに…。

Q 3 なぜそこまでしているのかについて質問。

A 3 子どものころからの夢、良い仕事をしたい。家族を養いたい。  
もうすぐ結婚する予定である。

Q 4 職業訓練校について質問。

A 4 ここに来れば、良い仕事に就けると思った。メカニックスを勉強したかった。家族を幸せにしたいという思いがあった。障害があるからといってできないことはない。職業訓練校に行けばできるようになる。

(社会福祉法人佐賀春光園 コロニーみやき 生活支援員 武下 徳光)



## 発表要旨&資料

7月8日（水）10：00～10：30 開会あいさつ

「障害者権利条約ならびにインチョン戦略を高く掲げて」

WAsia 代表 藤井克徳

わたしたちワーカビリティ・アジア（WAsia）は、アジアにおける障害のある人に就労を支援する団体のネットワークであり、39 団体（13 カ国・地域）から成っている。

アジアに暮らす 6.5 億人の障害のある人は、障害のない人の暮らしぶりとは比べ、絶えず厳しい状況下にあり、自然災害に際しても同様に不利益が集中する。そして、途上国においてはこれらの問題がより増幅するのである。WHO の報告によると、6 人に 1 人に何らかの障害があるとされているが、アジア域内ではまだまだ一部の障害のある人にしか具体的な支援が届いていないばかりか、社会的な関心の対象にすらなっていないのが実情である。

WAsia の仲間はこの状況を改革しようと、組織全体として、またそれぞれの地域で現実的な営みをベースに奮闘している。そんなわたしたちのめざすところは、障害者権利条約（特に第 27 条労働及び雇用）であり、インチョン戦略（特にゴール 1）の実現に他ならない。障害分野に関する世界の共通ルールであるこれらを最大限に活用しながら、障害のある人の暮らしの好転のために、ともに力を尽くしましょう。



## インド、タミルナードゥ州における障害のある人の能力強化プログラム

Rama Perumal ,B.Sc., B.Ed, Ph.D.,

理事長

SINAM NGO (Sadayanodai Ilaighar Narpani Mandram)

SINAM Development Centre, Avalurpet Road, Tiruvannamalai, India.

*sinamtn@gmail.com*

### 要旨

Sadayanodai Ilaighar Narpani Mandram (SINAM) はインドのタミルナードゥ州で 28 年以上に渡って活動している非宗教的で非営利、非政府の登録された NGO です。障害のある人々は、コミュニティの全体的な発展のために、様々な支援を必要としています。CBR（地域に根差したリハビリテーション）とともに、障害のある人の権利に基づいた雇用や暮らしのために、NGO、政府、金融機関、民間企業、公共機関が一つのチームとして、次の活動に係っています。

- 3 地域で 4,806 人の障害のある人を見つけ出し基本的なニーズを確認。ニーズアセスメントの過程で、NGO 理事、理学療法士、医療ソーシャルワーカー、特別教員が参加し、障害のある人が一定の期間で必要とされる支援を得て発達できるよう計画。
- 村会議のために 1 人ずつ、154 人のファシリテーターを見つけ出し、選任する。
- ファシリテーターのために一回 11 日間のトレーニングを実施。
- 障害のある人のスピーチグループを作り、強化する。
- 教育と指導を行い、特別グループが銀行資金や村の特別基金を利用できるようにする。
- リーダーシップ、グループマネージメント、経営スキル研修を実施する。
- 生活リソースマッピングを推進し、適切な生活プランを立てる。
- 障害のある人が賃金雇用やジョブカードの提供を通じて、生活を始めるための手助けと支援の拡大。
- 障害者にリハビリテーションサポートサービスを提供するため、ファシリテーターにトレーニングを行う。
- サービス提供機関、リハビリテーションチーム、医療専門家、技術訓練組織を見つけ出し、ネットワークを築く。

- 資金力のある団体やサービス事業者の支援を受けながら、障害者プログラム、3%の割当雇用、貧困削減、医療支援と器具、職業訓練などを活用し、障害者グループを指導する。
- 全体的な発展の保障と生活の質を更に高めるため、連携する。

能力強化プログラムでは、18 歳から 35 歳の障害のある人に雇用のための職業スキル訓練を、その他の人には彼ら自身の生活を維持するために、ニーズに基づいたトレーニングを提供しています。能力強化の過程では、異なるカリキュラム、様々な特性のある専門家が重要になっています。生活スキルと仕事のスキルトレーニングが提供されます。

生活スキルには、恐怖や失敗、批判、マイナス思考、鬱状態、ストレスなどの様々な生活問題にうまく対処するスキルの他、効果的なコミュニケーションスキル、モチベーション、グループダイナミクス、意思決定、チームビルディングなどが含まれています。

障害者は自殺率が高いですが、生活の対処メカニズムを強化し、生活スキルを学ぶことで、自殺を防ぐことができます。

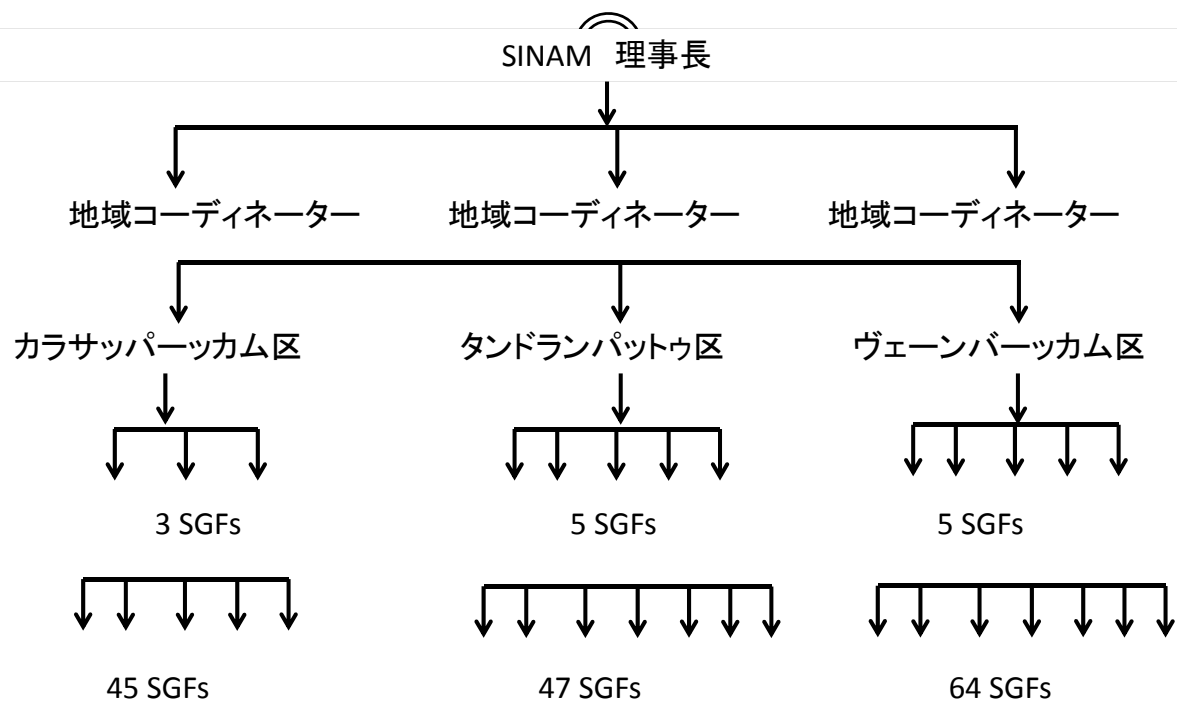
このようなトレーニングは彼らの自信や人生の質を高める手助けとなります。

# インド、タミルナードゥ州における 障害のある人の能力強化プログラム



Mr. RAMA PERUMAL  
SINAM 事務局 / 理事長  
インド、タミルナードゥ州、ティルヴァンナーマライ

## SINAM スタッフ



## 障害のある人の確認



SINAM BDMRFAはティルヴァンナーマライ県の3地域で活動している。

| No | 地域名        | 総人口     | 障害者数  |
|----|------------|---------|-------|
| 1. | カラサツパーツカム区 | 178,731 | 1,734 |
| 2. | タンダランパットゥ区 | 120,612 | 2,158 |
| 3. | ヴェーンバーツカム区 | 127,752 | 1,478 |
|    | 合計         | 427,095 | 5,370 |

## 障害者の確認とニーズ調査に携わっている人たちのチーム

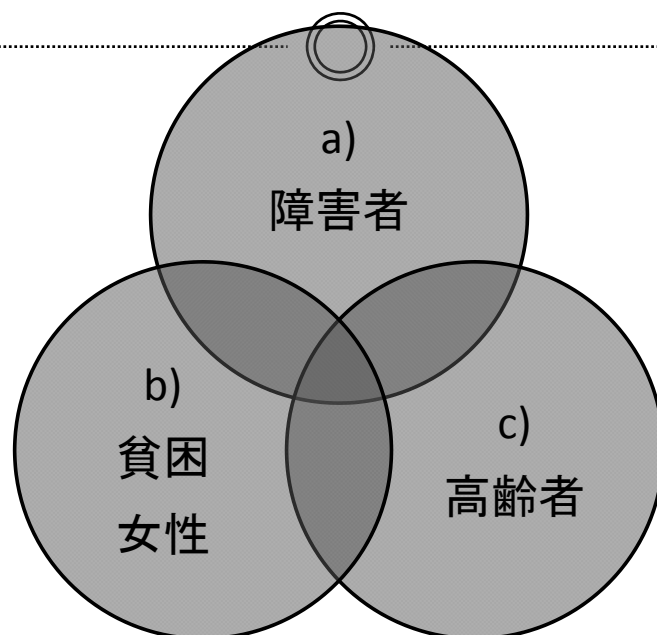


|    |      |                        |
|----|------|------------------------|
| 1. | 議長   | NGO理事長                 |
| 2. | メンバー | 特別教育専門家 / 医療従事者        |
| 3. | メンバー | 理学療法士 / 作業療法士          |
| 4. | メンバー | 心理学者                   |
| 5. | メンバー | 村の保健師                  |
| 6. | メンバー | 地域コーディネーター / ソーシャルワーカー |

## ニーズ調査



## 障害と深刻度の優先順位化



## 自助グループ



| No | 種類              | グループに必要な人数 |
|----|-----------------|------------|
| 1. | 女性グループ          | 12-20      |
| 2. | 若者グループ          | 12-20      |
| 3. | 民族グループ          | 12-20      |
| 4. | トランスジェンダー       | 5-12       |
| 5. | 特別グループ(退職者グループ) | 5-12       |

## 自助グループ



## ニーズの特定と優先順位化

- IDカードの発行
- 医療ニーズ
- リハビリテーションニーズ
- 社会的ニーズ
- 経済的ニーズ
- 教育・訓練ニーズ
- 財政支援
- マーケティングプロモーション
- 全員の雇用



## 障害のある人のための特別グループのステップ



コミュニティのニーズアセスメント



村レベルの障害者との面談



対象と除外基準に基づいた障害の認定



障害者の現状分析



貧困削減と他の自助グループへの統合のためのプログラムを計画



タミルナードゥ州の地方の生活活動と  
村で利用できる自助グループの統合のためのニーズ分析

.....続く



資格を満たした障害者を特別グループに入れる



少なくとも6ヶ月に2回のミーティングを実施する

月例ミーティングの実施



特別グループの銀行口座を開く

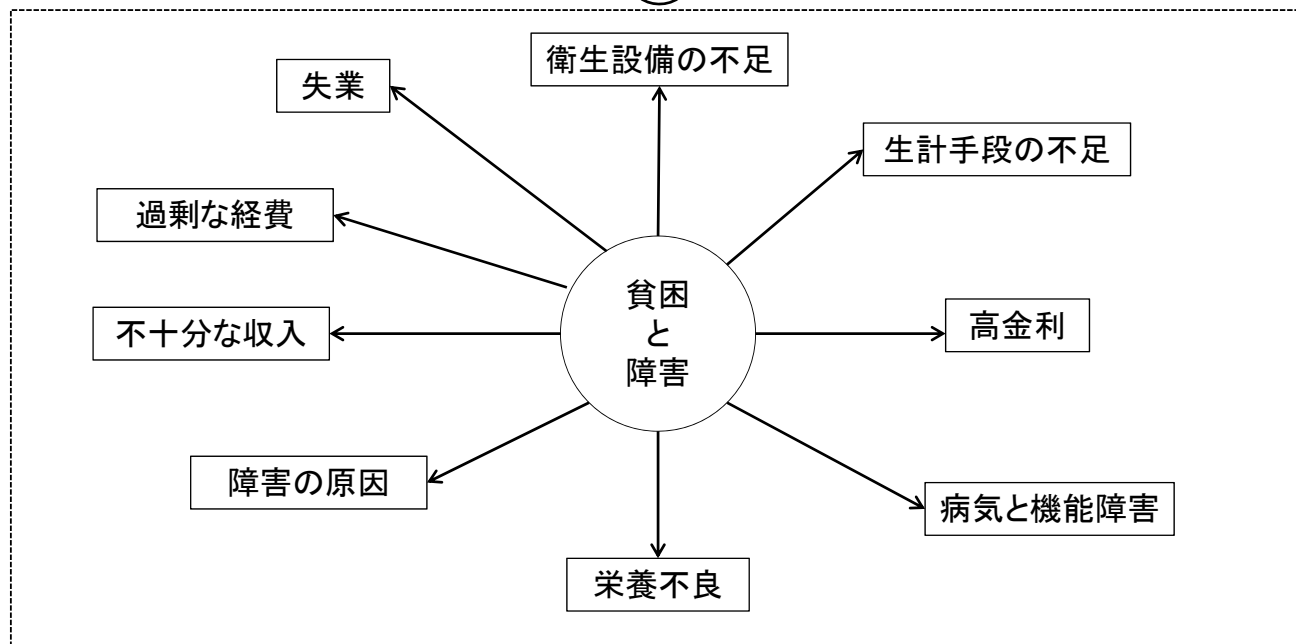


グループの分類



障害者の持続的な発展のための元金を与える

## 貧困と障害者の関係図



## 障害予防の啓蒙プログラム



- 障害予防のための異なる戦略の啓蒙活動の計画
- 児童婚の阻止
- 血縁関係の結婚の禁止
- 年長者のための結婚の防止
- 性別判定検査の防止
- ハイリスク妊娠へのケア
- 0歳から6歳の子供へのポリオワクチン投与



## アドボカシー



### 3%の法の執行

- 教育機関
- 雇用期間(民間、公共、企業)
- 新しい経済圏の戦略
- 3%の条件を監視する自警団

## 障害者の技術訓練



- 刺繍と洋服の仕立て
- キャンドル作り
- ワイヤー加工
- 樟脳製造
- Tube light shocked production ← 蛍光灯感電製品？
- 紙表紙作り
- 看護助手のトレーニング
- 木の彫刻

## 技術訓練



## 所得創出活動の助成金交付



## 障害者のサービス提供者とのネットワーク



- 障害のある人のプログラムを行うNGO
- 政府銀行、協同組合銀行、地域の手銀行、認可されているクレジット機関のような金融機関
- 販路
- 職業訓練センター



これらのプログラムを通して、私たちは特別グループを強固にしています。

ご清聴ありがとうございます。

ご質問はありますか？

7月8日（水） 15：45～16：00

「ワーカビリティ・アジア人材交流プログラム」を実施して

きょうされん 斎藤なを子・田中理絵・小野川勇

「ワーカビリティ・アジア人材交流プログラム」を、2015年4月12日から25日、タイ・レデンプトリスト財団からの研修員3人を日本できょうされんが受け入れ窓口となって実施した。

今回のプログラムは、「知的障害のある人の就労支援」を主テーマに、日本で実際の就労支援現場に携わっているスタッフが、知的障害者の就労先や支援機関への訪問、当事者との交流などをコーディネートし期間中は同行した。研修最終日には、ワーカビリティ・ジャパン（WIJ）主催の報告交流会において、タイ・日本の双方から気づきや学びを発表しあった。

ワーカビリティ・アジアとして初の試みであり、想定していた以上の大きな成果が得られた。その概要と研修員を受け入れた側として何を学んだか、また、今後にかかしていくべきことは何かなどについて報告をおこなう。



# 「ワーカビリティ・アジア 人材交流プログラム」 を実施して

きょうされん 斎藤なを子・田中理絵・小野川勇

## ワーカビリティ・アジア人材交流プ ログラム概要

- ▶ 期間；2015年4月12日～25日
- ▶ 研修員；タイ・レデンプトリスト障害者財団3人
- ▶ 受入れ；日本・きょうされん及びきょうされん加盟3法人
- ▶ テーマ；知的障害のある人の就労支援
- ▶ 研修内容；就労先の企業や就労支援機関の訪問、当事者との交流など
- ▶ 人材交流；
  - ① 日本の就労支援現場のスタッフが訪問先をコーディネートし同行
  - ② W I J 主催の報告交流会を実施し、タイ・日本双方からの気づきや学びを発表
  - ③ タイ・日本双方で報告書作成



・ 特別支援学校



・ お豆腐を作る作業所



・ 障害者が品出しをしているドラッグストア



・ お弁当を作る作業所の見学



・ スタジアムの清掃

・ 青年学級（余暇支援）



・ 障害の重い人が働く作業所



・ 自動車教習所の受付で働く知的障害者



・ 高賃金を目指す作業所

▶ 日本側が学んだこと

- ・ 障害のある人への思いを共有し、お互いを知ろうとする交流経験の大切さ
- ・ 日本での重い障害のある人への就労支援、とくに作業所の意義の再確認
- ・ 日本の作業所づくり運動などの歴史や実践をふりかえる機会

▶ 今後の課題

- ・ 日本での成果の普及
- ・ タイでの知的障害のある人の就労の促進とフォローアップ
- ・ ワーカビリティ・アジアでの「人材交流プログラム」の継続実施



## ワーカビリティ・アジア

### 総会議案

2015 年 7 月 9 日（木）15：45－17：00

ヒルトンパタヤホテル 15 階 SEA ボードルーム 6、パタヤ、タイ

#### A. イントロダクション:

1. 代表歓迎挨拶
2. 出席者確認

#### B. 人事事項:

##### 3. 役員の選任:

- 3-1 藤井克徳理事（きょうされん専務理事、日本）を代表に選任
- 3-2 デボラ・ワン理事（香港障害者団体協議会副代表、香港）を副代表に選任
- 3-3 キーリアン・ロー理事（デュアルブレッシング副チーフコーディネーター、マレーシア）を理事に選任
- 3-4 パトリック・ヨー理事（エデン社会福祉財団会長、台湾）を理事に選任
- 3-5 ジョスリン・ガルシア監事（タハナン・ワラン・ハグダナン C00、フィリピン）を監事に任命

#### C. 業務事項:

##### 4. 会員に関する報告

事務局長より会員に関する報告

##### 5. 事務局長報告

事務局長より過去 1 年間の活動報告

##### 6. 財務報告

- 6-1 事務局長より、2014 年 4 月 1 日より 2015 年 3 月 31 日までの財務報告
- 6-2 ジョスリン・ガルシア監事による監査報告

##### 7. ワーカビリティ・インターナショナル（WI）に関する報告

WI 理事デボラ・ワン、斎藤なを子より WI の活動報告

D. ディスカッション

8. 今後 WAsia が取り組むべき課題

9. 自由テーマ

E. 今後の会議予定:

10. 10-1 ワーカビリティ・アジア 2016 年会議  
インド、バンガロールにて、障害者協会 (APD) がホスト

10-2 ワーカビリティ・アジア 2017 年会議&ワーカビリティ・インターナショナル会議 2017  
香港、中国にて、香港障害者団体協議会（ジョイントカウンスル）がホスト

F. その他の議題:



## WORKABILITY ASIA

c/o KYOSAREN, 4-8-16-9F, Kita Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-0074, JAPAN

Tel: +81 3 5937 2444 Email: [wasia@kyosaren.or.jp](mailto:wasia@kyosaren.or.jp) URL: [workabilityasia.kyosaren.com](http://workabilityasia.kyosaren.com)

### 事務局長報告

#### 1. メンバーの状況

過去1年間において以下の団体が新規加入した。

- ・マリースト・ソリダリティ・カンボジア (カンボジア)
- ・サイレンス (香港)
- ・デラサール大学聖ベニルデ校ろう教育と応用研究 (フィリピン)

ワーカビリティ・アジアは新規メンバーを心から歓迎し、彼らの可能性とそれぞれの国における長い経験は、ワーカビリティ・アジアに対してさらなる発展をもたらすものと確信する。

2015年7月1日現在、ワーカビリティ・アジアの正会員は、バングラデシュ、カンボジア、香港・中国、インド、日本、マカオ・中国、マレーシア、ネパール、パキスタン、フィリピン、スリランカ、台湾、タイの13国・地域に39団体となった。

#### 2. 理事会

過去1年において対面理事会は1回開催された。2014年11月29日、ベトナム、ハノイで開催された「アジア太平洋障害フォーラム会議」に合わせた開催であった。会議中労働・雇用における分科会では、副代表デボラ・ワンがワーカビリティ・アジアの組織と活動について発表を行った。事務局では、2013年にWAsiaが作成した「すべての人に生活につながる労働を」を会議に参加した就労分野の関係者に配布した。

理事会は、財政問題、会員拡大、ワーカビリティ・インターナショナルとの関係等、重要な課題についての対策を講じた。対面理事会のほか、各理事はワーカビリティ・アジアの運営に関し常時電子メールにて意見交換を行った。

#### 3. ワーカビリティ・インターナショナル関連

アジア選出のワーカビリティ・インターナショナル理事として、副代表デボラ・ワンと斎藤なを子は、2014年10月スペイン、マドリードにおける対面理事会と5回の電話理事会に出席した。両理事はWIが直面する諸課題に対して毎回適切な意見や助言を述べた。

#### 4. ホームページ開設

過去1年間のハイライトの1つは、ワーカビリティ・アジアのホームページの開設である。事務局のマンパワー不足により開設に至るまで長い時間を要した。しかし、理事の支援も受け昨年開設に至った。ホームページが、会員間や外部との情報共有において効果的なツールであることは明白である。会員団体は、各国における障害関連のニュースやトピック、とりわけ就労関係の話題について投稿していただきたい。

#### 5. 交流プログラム

ワーカビリティ・アジアのコーディネートにより、2015年4月、「知的障害のある人の就労支援に関する交流プログラム」が実施された。タイのレデンプトリスト障害者財団から3名の研修員が来日し、2週間にわたり受け入れ団体であるきょうされんが実施した研修に参加した。法律や制度、一般雇用や作業所での就労、職業やキャリア形成の支援、グループホーム、障害のある人や家族との懇談等様々な支援活動を見学した。

研修のハイライトは、ワーカビリティ・インターナショナル・ジャパン主催による交流報告会であり、タイ、日本、双方の関係者が様々な研修成果を報告した。

今度は、日本の関係者が7月にタイのパタヤで開催されるワーカビリティ・アジアの会議に参加し、レデンプトリスト障害者財団が実施する研修パート2が行われる予定である。

会員団体が知識や経験を共有することは、ワーカビリティ・アジアの基本的活動の1つである。特定の課題に基づくこのような共同プログラムが会員間にさらに普及することを願う。

#### 6. ニュースレター

過去1年でニュースレターを4回発行した。各理事のメッセージ、最新の活動情報等が会員や外部の関係者に届けられた。今後も定期的な発行を目指すため、会員からの積極的な記事投稿をお願いしたい。

#### 7. ワーカビリティ・アジアの持続的な発展に向けて

ワーカビリティ・アジアの第1回会議は、2006年台湾、台北において開催された。当時の会員数は3国・地域に5団体であった。9年後、現在の会員数は13国・地域に39団体に拡大した。この発展はすべての会員による支援と、理事会の強力なリーダーシップに負うところが大きい。

この発展を持続的なものにするため、理事会は昨年11月ベトナム、ハノイにおける会議において、より公平な機会と多様性のあるガバナンスを目指した議論を開始した。

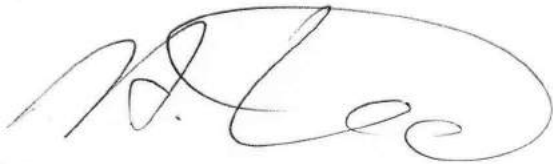
#### 8. 国連権利条約の実質的な実施とインチョン戦略

2015年6月12日現在、159署名国中155国が国連障害者権利条約を批准した。今日までに多くのアジア諸国も条約を批准している。締約国は、条約実施のプロセスを監視するために国連内に設置された、障害者権利委員会に対して報告書を提出しなければならない。私たち

は、市民組織として、それぞれの国において監視プロセスに積極的、かつ完全に参加しなければならない。

今年は、「アジア太平洋障害者の 10 年（2013-2022）」の 3 年目となる。アジア太平洋の障害者の「権利を実現する」インチョン戦略ゴール 1 は、「貧困削減と労働・雇用の向上」である。アジアにおいて唯一の障害のある人の労働および雇用を推進するネットワークとして、私たちはいかなる国においてもゴール 1 の達成を目指すために、具体的な行動を起こさなければならない。

2015 年 6 月 22 日



上野博

ワーカビリティ・アジア事務局長



## WORKABILITY ASIA

c/o KYOSAREN, 4-8-16-9F, Kita Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-0074, JAPAN

Tel: +81 3 5385 2223 Email: [wasia@kyosaren.or.jp](mailto:wasia@kyosaren.or.jp) URL: <http://www.kyosaren.or.jp>

### ワーカビリティ・アジア財務報告書 (2014年4月1日～2015年3月31日)

(円)

#### 1. 収支計算書

##### 収入

|      |         |
|------|---------|
| 会費   | 652,434 |
| 賛助会費 | 21,310  |
| 預金利息 | 189     |

収入合計 **673,933 (US\$5,391)**

##### 支出

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| 2014年 WI 会費 | 50,205 (GBP250) |
| 2015年 WI 会費 | 53,425 (GBP250) |
| ホームページ制作費   | 150,864         |
|             | 7,696           |
| 銀行手数料       | 19,569          |

支出合計 **281,759 (US\$2,254)\***

収支差額 **392,174 (US\$3,137)\***

#### 2. 貸借対照表 (2015年3月31日)

銀行預金 **1,423,067 (US\$11,384)** 三井住友銀行中野支店

\*1 ドル=125 円

2015年6月22日

上野博

ワーカビリティ・アジア事務局長

## 参加者の感想

押川 遊（社会福祉法人あかつきコロニー 職業指導員）

7月7日よりタイのパタヤで行われたワーカビリティ・アジアの会議に出席しました。アジアでは、国の支援に対する期待は薄く地域や一般企業が中心となった支援があり、これを特別な事と感じている様子も無く、地域での支援が自然と行われているように感じました。ただ、差別はあり、飲食業に障害者が携われる機会はないとの事でした

タイでは障害者の75%が身体障害との事。これには違和感があり、知的・精神の障害に関しては認知されていない方が多くいるのではないかとという疑問が残りました。

日本の福祉制度における良い点と悪い点を再確認出来た四日間でした。

笹川 喜代（社会福祉法人蒲生野会 生活支援員）

まずは、盛大な会場、国際色豊かな雰囲気には圧倒されたのが第一印象。そして他国語が何ひとつ分からない私自身も障害者の一人だと感じました。

同時通訳を聞きながらも勉強不足なため???の状態でしたが、ご自身が身体障害者であるオーストラリアの議員・ケリーさんのお話を聞かせていただく内に、話に引き込まれました。ご自身のことを踏まえての内容で、とても分かりやすく、障害のある方が抱いているであろう真の思いが伝わり、また障害者である彼女だからこそその“障害に対する意識を変えていこう”という強い決意と活動に、圧倒されました。

2日目の内容は「障害がある人の雇用について」というテーマについて、ディスカッションの中で、様々な国・企業のパネリストの方々の全てが、“障害を理解し、障害者を取り巻く環境・・・社会の意識を変えることが大前提”で、そのためのご自身（企業）の取り組みを熱く語っておられ、一般的に“先進国”と言われている日本が、とても発展途上国に感じられました。

毎月法人内の会議等で情勢を聞いてきた中で、理屈はわかっている、日々目の前の支援に追われ、様々な運動をすることにあまり積極的でなかった私にとって、今回の会議全体のテーマ「ともに変化を生みだそう」の”変化”は、少なからず私自身に必要なことだったと思います。（捉え方は違うかもしれませんが…）

今回の会議では、身体障害の方に対する取り組みが多かった様に感じ、私が日々一緒に過ごす重度の知的障害の方の雇用に対して、即参考にできる実践は見い出せませんでした。障害の種類に関係なく、“障害を理解し、障害者を取り巻く環境、社会の意識を変えること”を大切にしながら、一緒に過ごす利用者さんを見つめていきたいと思っています。

#### 末永 義則（はびきの園 一般支援員）

日本国内での障害雇用と国外での障害雇用の違いが学べた事は大きかった。政府が障害雇用の促進を促していたり、障害雇用での課税の点など日本と類似した発展がある点も見られたが、無利子の3年間の貸付を行い、障害雇用を含めた企業展開のバックアップをしたりと企業に対し積極的な対策を元に障害雇用の斡旋をしている点では政府の積極的な姿勢を伺うことが出来た。メディアの場で活躍しイメージ改善を試みたりと視点を変えたアプローチを行っている企業もあり、政府や企業個人の様々な考え方で障害雇用を考えお互いに協力出来ている面では障害雇用の広がりはいくらも大きくなっていくと考えることが出来た。また、政府に頼るばかりではなく企業同士が手を取り合い政府に働きかけていく必要性も話しており、障害雇用としてではなくいち従業員・ビジネスパートナーとしての雇用の観点を持って取り組んでいる事には感激を覚えた。日本の考え・他国の考え、視点が違えば発展も違う。しかし、国が変わろうとも目指そうとしている方向性や在り方は同じだと感じた。

最後に貴重な機会に参加させていただけましたこと誠に感謝いたします。この度学んだ貴重な体験や知識を福祉発展に協力できる機会があればと考えています。

#### 高橋 慈（社会福祉法人 鴻沼福祉会 のぞみホーム 生活支援員）

今回の研修を通し、普段現場では、感じられないことを見て学ぶ貴重な機会となった。まだまだ発展途上のアジアではあるが、障害者の就労をもっと良くしようとする勢いと力強さを感じた。また、日本の過去の実践が今多くの国の手本や力となり、将来の希望であるとも知り、日本の良さを改めて知る機会となった。障害があってもなくても多くの人が希望のある生き方ができるように、今回学んだことを生かし、自分の位置でできることを考えていきたいと思った。現地の人々の温かさにも触れ、どんな環境や実践においても「人の繋がり」が大切だと感じた。今回、出会った全ての方に心から感謝します。

#### 高橋 洋平（あゆみ作業所 副所長）

私が会議を通して特に感じたことは考え方の違いでした。日本ではどうしても障害のある人を雇用するにあたって、障害に配慮することをまず考えてしまいがちですが、その人の能力に焦点をあてることが重要だと多くの報告で話されていました。「何ができない」ではなく「何ができるか」まずはやってみることが大事だということです。実はわたしたち支援者側が、障害のある人の力を枠にはめてしまっているのではないかと改めて気づき、実践を見つめ直す機会にもなりました。

今回この会議に参加して、日本で聞く以上に多くのことを吸収できた気がします。これからは、特にアジアの人たちの文化や歴史を学び、アジアの仲間を尊重しながら、一緒になってがんばっていききたいと強く感じたパタヤでの会議でした。

武下 徳光（社会福祉法人佐賀春光園 コロニーみやき 生活支援員）

ワーカビリティ・アジア会議 2015 に参加して、初めての海外研修、緊張しながらタイに行きました。現地に着くと日本と違い、少し動くだけでも汗をかいてしまう感じでした。

タイ研修の中で一番印象に残ったのは、毎日障害を持った方たちに、自らの手で能力が発揮できるようにすることが大切だ、とお話を聞き、マハタイエレクトロニクスセンターでは機械の修理を行っており、テレビの修理がメインの様子で、両上肢欠損の方が多くの外国人に作業を見られ恥ずかしそうに両足でハンダごてを器用に扱っている姿が印象的でした。

余談ではありますが、ゾウに乗れたことは一生忘れることはないでしょう。

田中 理絵（社会福祉法人皆の郷 川越いもの子作業所 生活支援員）

政府や企業と協同し、アジア各国 300 名以上の参加者を募り、高級ホテルで開催された障害者会議は、その規模と雰囲気からだけでも充分、戦略的に進められようとしているタイの障害者運動の熱気が伝わってきました。会議では、重度障害者(特に知的・精神)に関する調査や就労についての報告はあまりみられませんでした。既に取り組んでいるタイ・日本の人材交流プログラムでのつながりを大切に、今後は実践交流もアジアの中で深めていけたらと思いました。アジア各国が、その国の一番困っている人たちの事を、顔と顔をつなぎながら伝えていく事が何より、平和の為にできることだと感じました。

永江 賢（障害者就労・自立支援センターたんぽぽ 職業指導員）

今回、WAsia 会議に参加させていただき、アジアにおける就労支援の取り組みについて知ることができました。日本と比べて障がい者を支援する為の法律や制度が不十分ではあるものの、制度を基軸としない分、自由な発想による支援が行われており、その人に必要なのはどういった支援かという事を必死に考える支援者の姿がとても印象的でした。日本では法律や制度が整備されているからこそ、「この人はこの制度が使えないから支援ができない。」「これはサービスの範囲外だから支援は難しい。」といった話もよく聞かれます。しかしながら、その人がその人らしく生きていく為にはどういった支援が必要なのか、既存の制度だけに頼るのではなく、真にその人に必要な支援が何かを考えていく事が重要なのだと、再確認することができました。

#### 政岡 宏（ともの家 主任）

空港からパタヤまでの車中、ハイウェイ沿いの景色、看板、走行中の車やバイクなどを眺めていた。経済成長著しいとはいうものの、店舗の数やインフラ整備、住居の様子等から推測するに、国民の生活はかなり厳しいものだろうと感じた。

様々な職業訓練の取組みとして先進事例が紹介される中、一般就労に馴染むことが難しい方や長期入院となっている方の「労働を通じた社会参加」の実態が見えづらく、地域生活にはほぼ手つかずの状況であろうと予想される。

今後、権利条約を念頭に実践を積み重ねる中、タイを含めた東南アジアに限らず欧米や日本においても「福祉的就労の場」が重要視されなければならない時が来ると確信しました。

#### 松田 崇介（社会福祉法人かがやき神戸 事務局次長）

今回、初めて国際会議に参加させて頂きました。発表を聞いていて感じたのは、アクセサビリティという言葉が多く使われていたという事です。やはり、アジアにおいては、バリアフリー化がまだ進んでいないという事を改めて認識させられました。しかし、それは、物理的なアクセスが可能かという具体的な事だけでなく、それに加え、技術や情報の取得が可能かという意味も持っていました。

個人的には、日本においては精神的なアクセサビリティの構築を図っていく事が必要だと感じました。例えば私の法人も、昨年グループホーム建設の反対運動にあいました。近隣にホームが建つと危険であるという主張がされましたが、そこでは最初からコミュニケーションが拒否されていました。

今回の会議では、オーストラリアの州議会議員の方が、メディアに障害者の方を多く登場させる事で世の中の受け取り方を変えろと言っていました。そういった取組みが日本でも必要だと感じました。まずは自分に何ができるか、考えていきたいと思います。

#### 渡辺 浩二（社会就労センターきたざと 主任生活支援員）

今回、「ともに変化を生み出そう」というタイトルで、アジア各国の障害者支援、就労に向けた取り組みが発表されました。国によって政府や企業の支援、国民の理解等に差はありますが、それぞれの置かれた立場で懸命に努力していることが伝わりました。各発表者から障害者支援、就労に関する情熱や信念が語られ、常に前を向いて工夫、改善していくことの大切さを感じることができました。障害者や恵まれない人達のために全力を尽くす姿勢に、国や言葉の違いは関係ないことを改めて感じる事ができ、貴重な経験となりました。

渡辺 幸子（社会福祉法人足利むつみ会 セルフみなみ 副管理者）

初めて WAsia 会議に参加させて頂き、驚きました。参加者がみな強い意志を持ち、自身の為に、家族の為に、あるいは仲間の為に、社会を変えようと主張し動いている。障害を持つ方の雇用状況等は、世界も日本と同様に厳しいらしく、雇用側の障害に関する固定観念を払拭し理解し合うために、自身を強くアピールする必要があるとの事。日本の福祉は、外国とは制度や仕組みが違うことで、ともすれば受身になりがちですが、時にはもっと声を上げるべきではないかと感じました。

世界の熱さを身近に感じる事ができた貴重な3日間でした。このような貴重な体験を下さった皆様に、深く感謝いたします。



# WAsia 会議 2015 in パタヤ 参加者名簿

| No. | 氏 名    | 所属・役職                         | 都府県 |
|-----|--------|-------------------------------|-----|
| 1   | 藤井 克徳  | きょうされん・専務理事、WIJ 代表理事、WAsia 代表 | 東京都 |
| 2   | 斎藤 なを子 | (福) 鴻沼福祉会・常務理事、WIJ 理事、WI 理事   | 埼玉県 |
| 3   | 上野 博   | きょうされん・国際交流アドバイザー、WAsia 事務局長  | 東京都 |
| 4   | 岡本 千明  | (福) 蒲生野会・課長補佐                 | 滋賀県 |
| 5   | 押川 遊   | (福) あかつきコロニー・職業指導員            | 東京都 |
| 6   | 小野川 勇  | あぞみ共同作業所・生活支援員                | 埼玉県 |
| 7   | 笹川 喜代  | (福) 蒲生野会・生活支援員                | 滋賀県 |
| 8   | 末永 義則  | はびきの園・一般支援員                   | 大阪府 |
| 9   | 高橋 慈   | (福) 鴻沼福祉会 のぞみホーム・生活支援員        | 埼玉県 |
| 10  | 高橋 洋平  | あゆみ作業所・副所長                    | 滋賀県 |
| 11  | 武下 徳光  | (福) 佐賀春光園 コロニーみやき・生活支援員       | 佐賀県 |
| 12  | 田中 理絵  | (福) 皆の郷 川越いもの子作業所・生活支援員       | 埼玉県 |
| 13  | 中井 有哉  | きょうされん・事務局                    | 東京都 |
| 14  | 永江 賢   | 障害者就労・自立支援センターたんぽぽ・職業指導員      | 福岡県 |
| 15  | 政岡 宏   | ともの家・主任                       | 京都府 |
| 16  | 松田 崇介  | (福) かがやき神戸・事務局次長              | 兵庫県 |
| 17  | 渡辺 浩二  | 社会就労センターきたざと・主任生活支援員          | 栃木県 |
| 18  | 渡邊 幸子  | (福) 足利むつみ会 セルプみなみ・副管理者        | 栃木県 |
| 19  | 佐藤 ふき  | きょうされん事務局、WAsia 事務局           | 東京都 |
| 20  | 城田 さち  | 日英通訳                          |     |
| 21  | 三宅 愛   | 日英通訳                          |     |

※順不同、敬称略

# レデンプトリスト障害者財団紹介

(WAsia ニュースレター 5 号より抜粋)

レデンプトリスト障害者財団は、1987 年に設立されたレデンプトリスト障害者職業訓練校の長期にわたる活動を強化し保証するために、2000 年にレイモンド・ブレナン神父（レイ神父）によって創設されたタイのパタヤにある慈善団体です。財団のもう一つの目的は、レデンプトリストの思想によって障害者の生活の質を高めることです。その思想とは、「彼らを支援することは必要な人を支援することです。彼らは社会的負担ではなく寛容で、社会に貢献する存在である」というものです。

レデンプトリスト障害者財団の 5 つの使命

1. 雇用推進
  - (1) レデンプトリスト障害者職業訓練校
  - (2) 障害者職業紹介所
2. アドボカシー（権利擁護）&エンパワメント
3. 研究開発
4. 意識啓発
5. 資金調達とネットワーク

レデンプトリスト障害者財団の 3 つの部門では、無料で障害者の生活の質を高めるためのサービスを提供しています。

1. レデンプトリスト障害者職業訓練校
2. レデンプトリスト障害者職業紹介所
3. レデンプトリスト障害者自立センター

## WI / WAsia / WIJ 紹介



### WI (ワーカビリティ・インターナショナル)

WI は、1987 年 11 カ国の創設メンバーによりスウェーデンにおいて設立されました。当時の名称は IPWH でしたが、2002 年 1 月の年次総会で現在の名称に変更されました。

WI は、障害のある人に労働・雇用サービスプロバイダー（提供者）団体として、世界で最も大きな組織です。40 以上の国の WI 加盟団体によって、350 万人以上の障害のある人に就労プログラムを提供しています。WI は、障害のある人に対して就労プログラムや支援サービスの提供において、国際的に最も高い基準を作り上げることを探求しています。

<http://www.workability-international.com/>

### WAsia (ワーカビリティ・アジア)

アジア地域において、情報交換や経験交流を通して、アジアの障害のある人の権利を推進し、生計の支えとなる収入を獲得できることを目的に活動している団体のネットワークです。2004 年に設立され、現在 12 カ国・地域の 32 団体が加盟しています。

毎年アジア各国持ち回りで総会を開催し、理事会を年 2 回開催しています。

WAsia 加盟団体の連携は年々強まり、交流も活発になってきています。現在はきょうされんが事務局を担い、年間 4 回のニュースレターを発行しています。

<http://workabilityasia.kyosaren.com/>

### WIJ (ワーカビリティ・インターナショナル・ジャパン)

WI や WAsia と協力し、障害のある人々の働くことを支援するための条件の改善提案を行うことを目的に、2004 年に設立されました。

2008 年 9 月には、札幌で WI 世界会議を開催しました。

現在は、全国社会就労センター、きょうされん、日本セルフセンター、ゼンコロの 4 団体が加盟しています。WAsia の中心的存在として、活動に積極的に参加しています。現在、日本セルフセンターが事務局を担っています。

アジアの働く障害のある人を支援する目的で、WIJ オリジナルピンバッチの製作販売や賛助会費の募集等、WIJ や WAsia の活動を支える資金協力を呼び掛けています。

## おわりに

WI 会議はヨーロッパ、アメリカ、アジア、オセアニアの持ち回りで、WAsia 会議はアジア地域の持ち回りで開催されており、2015 年度はそれぞれアメリカのサンディエゴ、タイのパタヤで会議が開催されました。

海外での会議参加となると、日程的にも費用的にも気軽に参加できるとは言い難いですが、広く参加者を募集した WAsia 会議だけでなく、WI 会議にも日本から参加者を送り出すことができたことはとても誇らしいことです。今回参加できなかった方々に会議の雰囲気や少しでも感じ取っていただき、今後の参加につなげていただくため、WIJ の活動記録として、この報告書をまとめました。

もともとヨーロッパが中心となって活動していた WI ですが、ここ数年状況が変わり、アメリカ、オセアニアにベクトルが移ってきています。WIJ というのは、WI の先進的な活動に目を向けつつ、WAsia の発展に重心を傾けている状況です。今年度は初の取り組みである「WAsia 人材交流プログラム」にとりくみ、成功を収めることができました。このようにして見ると、経済的・政策的に決して恵まれていると言えないアジアの途上国で、自力で障害のある人の就労を支援している WAsia 会員の活動に対して日本が貢献できることはたくさんあるのではないのでしょうか。また、それこそが WIJ に求められていることではないかと強く感じます。

国際会議では言葉の問題だけではなく、会議準備や運営についても日本と同じというわけにはいきません。今年度の会議についてもプログラムが当日まで確定しなかったり、資料が揃わなかったりと、参加者だけでなく通訳の方にもご迷惑をおかけしました。ただ、それを含めてでも国際会議に参加し、各国の会員と交流を深めることは日本を客観視するためにもとても意義のあることではないのでしょうか。“障害のある人の就労を発展させる”という同じ目的をもちながら奮闘している各国のとりくみを知ることは、わたしたちを大いに励ましてくれるのです。

本報告書をご覧になってアジアのために何かしたいと思われる方、世界の最新動向を肌で感じたい方など、ぜひ次回の国際会議にご参加ください。2016 年度の WI 会議はニュージーランドのオークランド、WAsia 会議はインドのバンガロールでの開催となります。多くの方々のご参加をお待ちしております。

ワーカビリティ・インターナショナル・ジャパン  
理事 斎藤 なを子

---

ワーカビリティ・インターナショナル(WI)会議 2015 in サンディエゴ 報告書  
ワーカビリティ・アジア(WAsia)会議 2015 in パタヤ 報告書

2016 年2月

ワーカビリティ・インターナショナル・ジャパン(WIJ)  
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-13-1 大橋御苑駅ビル別館 2 階  
特定非営利活動法人日本セルフセンター内  
TEL:03-3355-8877 / FAX:03-3355-7666

---

裏表紙